

# 地域連携 学生フォーラム in 大阪 2022 報告集



主催：特定非営利活動法人 大学コンソーシアム大阪

# 目 次

|   |    |
|---|----|
| ○はじめに   | 1  |
| ○次 第  | 2  |
| ○発表概要   |    |
| 学生発表① 大阪経済大学 経営学部 古賀ゼミ<br>地域の魅力の発見・発信のデザインと関係人口の創出による地域活性化<br>―“東淀川魅力発見プロジェクト”参加を手掛かりとして― | 3  |
| 学生発表② 大阪成蹊大学 経営学部 大島ゼミ<br>自治体広報紙記事作成による「救急車の適正利用と消防活動」の啓発                                 | 18 |
| 学生発表③ 大阪電気通信大学<br>OECU カフェラボプロジェクト（2022年度報告）  | 34 |
| 学生発表④ 摂南大学 経営学部 鶴坂ゼミ<br>地元商店街での新規顧客開拓活動   | 49 |
| ○当日の様子  | 64 |
| ○学生運営メンバー活動の様子およびアンケート集計  | 65 |
| ○参加者・観覧者アンケート集計   | 73 |
| ○広報用チラシ   | 81 |



## はじめに



特定非営利活動法人 大学コンソーシアム大阪  
地域連携部会長 荻田 喜代一  
(摂南大学 学長)

地域連携学生フォーラムは、大学コンソーシアム大阪の会員大学の学生が地域と関わりながら取り組む研究活動やフィールドワーク、ボランティア活動等の内容について発表や交流を目的に、年に一度開催しています。このような発表交流会を通じて、学生の活動に取り組む意識向上や自己点検を促進するとともに、地域との連携を行ううえでの配慮すべきポイントやノウハウを会員大学や自治体関係者等で共有し、会員大学における地域連携活動の活発化を目指す機会としています。

今回は「大阪の大学生発！私たちのアイデアでまち・地域を元気UP！」をテーマに、6大学13名の有志学生が本フォーラムの運営メンバーを関わりながら、学生による学生のためのフォーラム」が実現しました。

当日は4大学4事業の発表があり、それぞれの発表に関する意見交換のほか、交流企画として理想の大阪を描くワークショップを行いながら、積極的な相互交流の場が設けられました。これらの発表や交流を通じて、参加者が各大学の特色を生かしながら、地域固有の事情を踏まえたユニークな「地域連携」が体現されていることを知り、また今後の活動への応用や工夫に繋がるきっかけとなったことと思います。

この報告集は、4事業の活動内容やこのフォーラムを支えた学生運営メンバーの活動内容をまとめたものであり、大学コンソーシアム大阪のホームページでも公開しておりますので、皆様の活動に広くお役立ていただければ幸いです。

最後に、本フォーラムの開催に際し、ご協力いただいた関係各位に心より御礼申し上げます。

2022（令和4）年12月

# 地域連携学生フォーラム in 大阪 2022 次 第

◆日 時：2022（令和4）年10月23日（日）13：00～17：00

◆会 場：グランフロント大阪 北館タワーC 8階

ナレッジキャピタルカンファレンスルームタワーC RoomC01+C02

| 時 間         | 発表大学・団体                      | 内 容 |
|-------------|------------------------------|-----|
| 13：00～13：15 | 開会あいさつ（趣旨説明・推進委員 紹介）         |     |
| 13：15～13：45 | 学生発表①<br>摂南大学<br>経営学部 鶴坂ゼミ   |     |
| 13：45～14：15 | 学生発表②<br>大阪成蹊大学<br>経営学部 大島ゼミ |     |
|             | 休憩（15分）                      |     |
| 14：30～15：00 | 学生発表③<br>大阪経済大学<br>経営学部 古賀ゼミ |     |
| 15：00～15：30 | 学生発表④<br>大阪電気通信大学            |     |
| 15：30～15：50 | 推進委員からの講評・閉会あいさつ             |     |
| 15：50～16：00 | 交流会準備                        |     |
| 16：00～17：00 | 交流会                          |     |

# 各団体の発表

## ■大阪経済大学 経営学部 古賀ゼミ

|       |   |
|-------|---|
| 活動テーマ | 地域の魅力の発見・発信のデザインと関係人口の創出による地域活性化<br>——“東淀川魅力発見プロジェクト”参加を手掛かりとして—— |
| 活動場所  | 大阪市東淀川区   |
| 連携先   | 東淀川区役所地域課、地元のスーパーや商店街（予定）   |
| 活動主体  | 大阪経済大学 経営学部 古賀ゼミ  |

### 1. 活動概要

近年、地域づくりの文脈で「関係人口」という概念が注目を集めています。私たちは、「関係人口」を「地域に継続的に関心を持ち、自発的内発的に活動し、それを通じて地域の人々と多様に関わる者」と考え、地元の東淀川区の人口の特徴、年齢別生活行動や地理的特徴などを踏まえ、どのようにして関係人口の創出を構築し、地域の活性化に結びつけるかを考えています。①私たちは、地元の東淀川区の良さを地域内外へ“発信”アピールしようと考え、東淀川区の「東淀川魅力発見プロジェクト」に参加しながら、“地域の身近な魅力”を「産業」・「歴史文化」・「食」にカテゴライズし、魅力を発見しています。また、②産学交流の点、地域の担い手でもある大阪の中小企業へアンケート調査を実施しました。この調査では、企業と地域の魅力との関係について、調査しました。こうした活動を踏まえて、学生目線での“発信”の仕方（デザイン）と仕組み作りを提案します。

### 2. 年間計画

| 2022年度  | 活動内容・計画  |
|---------|--|
| 5月      | <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 「東淀川魅力発見プロジェクト」（事務局：東淀川区役所）に参加。</li> <li>■ 「東淀川魅力発見プロジェクト」定例会議参加。</li> </ul>  |
| 6月      | <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 「東淀川魅力発見プロジェクト」“柴島まちあるき”に参加。</li> <li>■ アンケート調査票作成。</li> <li>■ 東淀川区の魅力を「産業」「歴史・伝統」「食」にカテゴライズし、実施調査開始。</li> </ul>    |
| 7月      | <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 東淀川魅力実地調査。</li> <li>■ 「東淀川魅力発見プロジェクト」定例会議参加。</li> <li>■ アンケート調査票発送。</li> <li>■ Instagram 開設</li> </ul>              |
| 8月      | <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 東淀川魅力実地調査。</li> <li>■ 「東淀川魅力発見プロジェクト」定例会議参加。</li> <li>■ 回収アンケート分析。</li> <li>■ 関係人口創出の仕組み作りに関する各地域の事例を調査。</li> </ul> |
| 9月      | <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 東淀川魅力実地調査と発信デザイン検討。</li> <li>■ 「東淀川魅力発見プロジェクト」定例会議参加。</li> <li>■ Twitter 開設ほか、ポスターちらし作製。</li> </ul>                 |
| 10月～11月 | ■ 地元のスーパーや商店街にちらしポスター配布予定  |
| 12月     | ■ 回答企業様への成果研究発表会   |

### 3. 活動成果

- 魅力発見の実地調査では、“なさそうである（気が付かない）”東淀川区の魅力を調査し、これまで以下の実地調査を行いました。現在、魅力を学生目線でデザインし、一部、発信しています。
  - ①「産業」（伝統産業・ものづくり産業）：山田晒染工業株式会社、飯田織工業株式会社、豊里金属工業株式会社ほか、
  - ②「食」：菓匠あさだ（和菓子）、こうち商店（駄菓子）、丸赤製菓糸田川商店（チョコボンボン専門店）ほか、
  - ③「歴史文化」：大阪市水道博物館、柴島城跡、瑞光寺、春日神社ほか。
- 企業アンケート調査では、①企業と地域の魅力とのつながり、②地域との共同事業の有無、③地域の魅力を活かすプロジェクト分野、④魅力を発信するに際して、人を惹き付けることに重要な要素、④関係人口・活動人口創出と企業との関係、⑤人に関心と行動を誘発させる要素について質問しました。計301社にアンケート調査票を送付し、62社の企業様から回答を頂きました。

### 4. 地域からの評価

この報告後に“東淀川魅力発見プロジェクト”参加メンバーの地域住民の皆様から評価・感想をおこなってもらう予定にしています。

### 5. 参考 WEB サイト

<https://www.osaka-ue.ac.jp/education/seminar/zemisyoukai/business/zemisyoukai71.html>

### 6. 活動メンバー

経営部 3年  
西村 颯太、今村 凌士、岩下 紗斗、柏原 陽成、高野 颯、山本 拓矢、崎山 仁、  
栗本 絢太、嶋田 涼介、米田 加奈、西村 文伽、藤田 聖奈、山口 千晴、宮原 太一、  
山口 司、大前 光瑠、寺林 一樹、横山 裕紀、山口 祐史、濱田 光貴

### 7. 担当教員

経営学部 准教授 古賀 敬作

### 8. 本活動に関する連絡先

|        |          |                          |
|--------|----------|--------------------------|
| 大 学 名  | 大阪経済大学   |                          |
| 所属先・職名 | 経営学部・准教授 |                          |
| 氏 名    | 古賀 敬作    |                          |
| 連絡先    | 電 話      | 06-6328-2431（代表）2817（内線） |
|        | メー ル     | k_koga@osaka-ue.ac.jp    |

## 9. 活動の様子



「山田晒染工業株式会社実地調査」



「水道記念館を起点に柴島エリア周辺のまち歩き」



「2022年度中小企業アンケート調査」

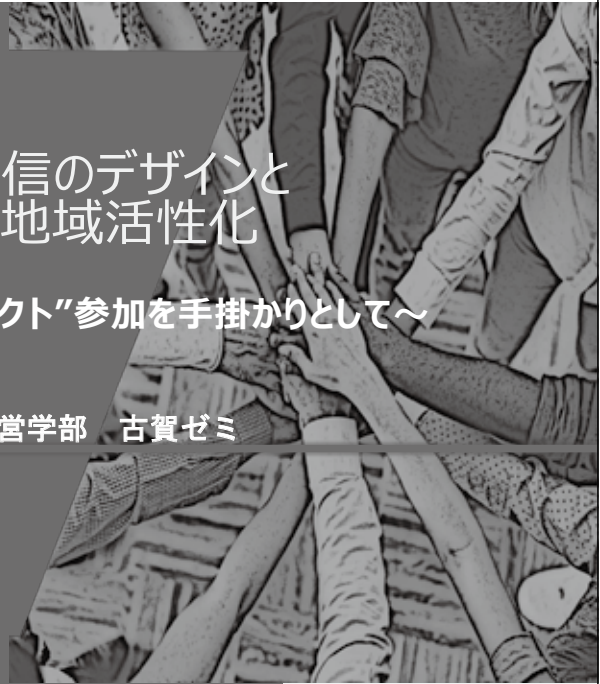




# 地域の魅力の発見・発信のデザインと 関係人口の創出による地域活性化

～“東淀川区魅力発見プロジェクト”参加を手掛かりとして～

大阪経済大学 経営学部 古賀ゼミ



## 研究調査のバックグラウンド-市街地地域の地域活性化の問題点

市街地高齢社会  
地域単位の身近な施策の困難さ



ご近所付き合いの軽薄化  
参加メンバーの固定化



高齢化に伴う  
地縁団体（町会）の存続危機

高齢者  
人口



地域の人口構  
成に対する考  
え方の見直し



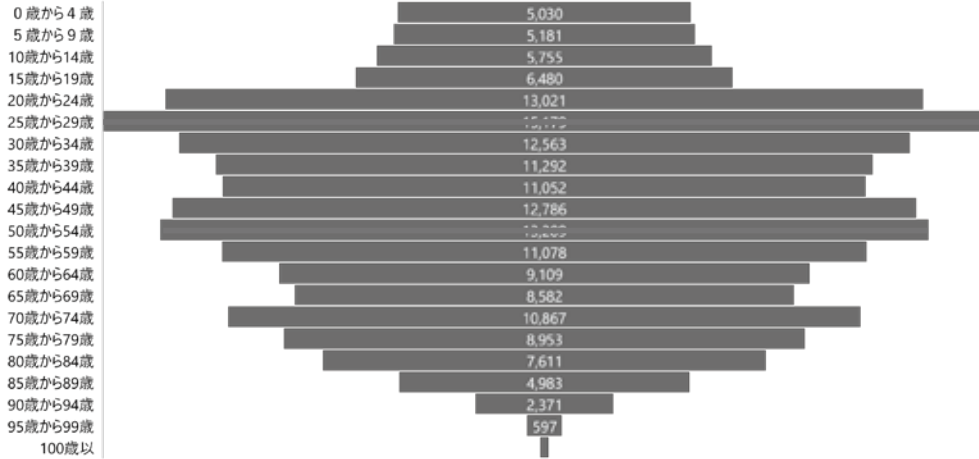
地域活性化

2



## 地域の人口上の特徴の把握-年齢別人口構成-

総人口のうち、20代～30代、40代～50代が占める割が多い  
東淀川区年齢別人口(令和4年9月1日現在)



出所:「大阪市の推計人口(令和4年9月1日現在)(東淀川区)」より作成

3



## 地域の人口上の特徴の把握-世帯数

大阪市東淀川区(大阪府)

### 世帯数は増加傾向

総世帯数  
推移グラフ(2003～2018年)  
(graphtochart.com作成)



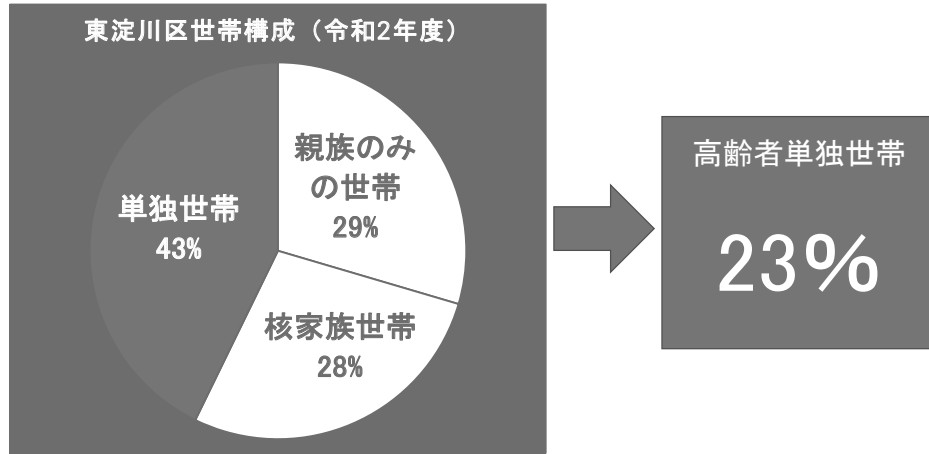
出所:<https://graphtochart.com/japan/osakashi-higashiyodogawaku-no-of-total-households.php#todouhukerank> (2022年9月1日閲覧訪問)

4



## 地域の人口上の特徴の把握-世帯構成

### 単身世帯への着眼することの必要性



出所:総務省統計局「令和2年国勢調査 小地域集計 第3表 男女、年齢（5歳階級）別人口、平均年齢及び総年齢—町丁・字等（東淀川区）」より作成

5

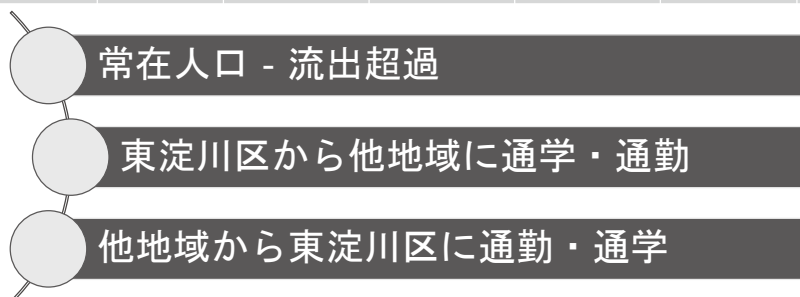


## 地域の人口上の特徴の把握-昼間人口と夜間人口

### 東淀川区構成人口の流れ

（単位：人）

|      | 夜間人口    | 流入人口   | 流出人口   | 流入超過人口  | 昼間人口    | 昼夜間人口比率 |
|------|---------|--------|--------|---------|---------|---------|
| 東淀川区 | 176,585 | 37,585 | 47,516 | △ 9,931 | 166,654 | 94.4    |

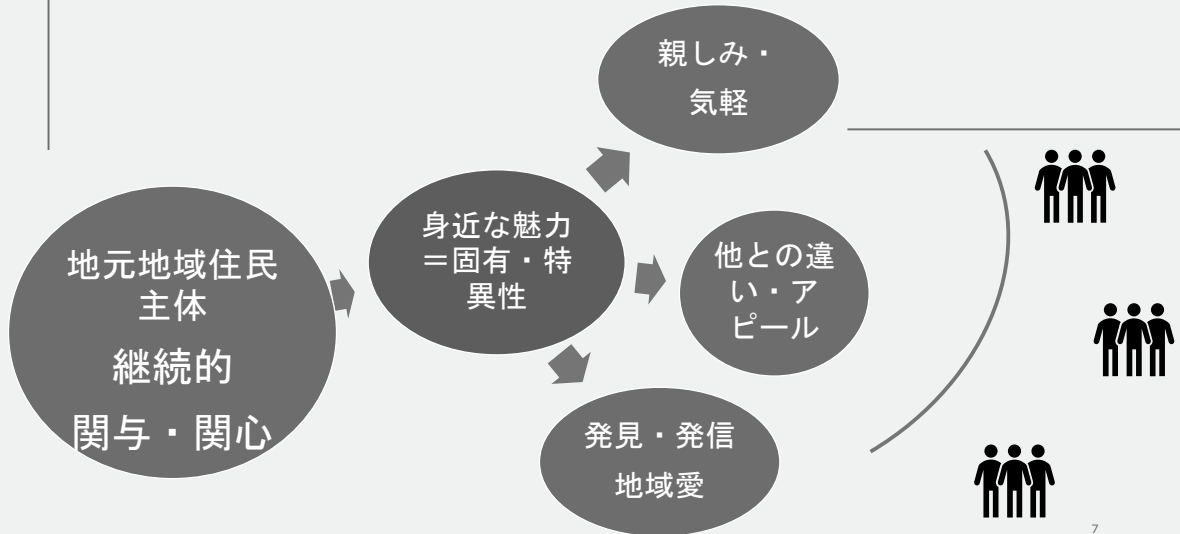


出所:大阪市「昼間人口および夜間人口（東淀川区）2019年8月14日」  
（<https://www.city.osaka.lg.jp/shimin/page/0000474311.html>）より作成

6



## わたしたちがおもう関係人口・活動人口の創出 地域活性化



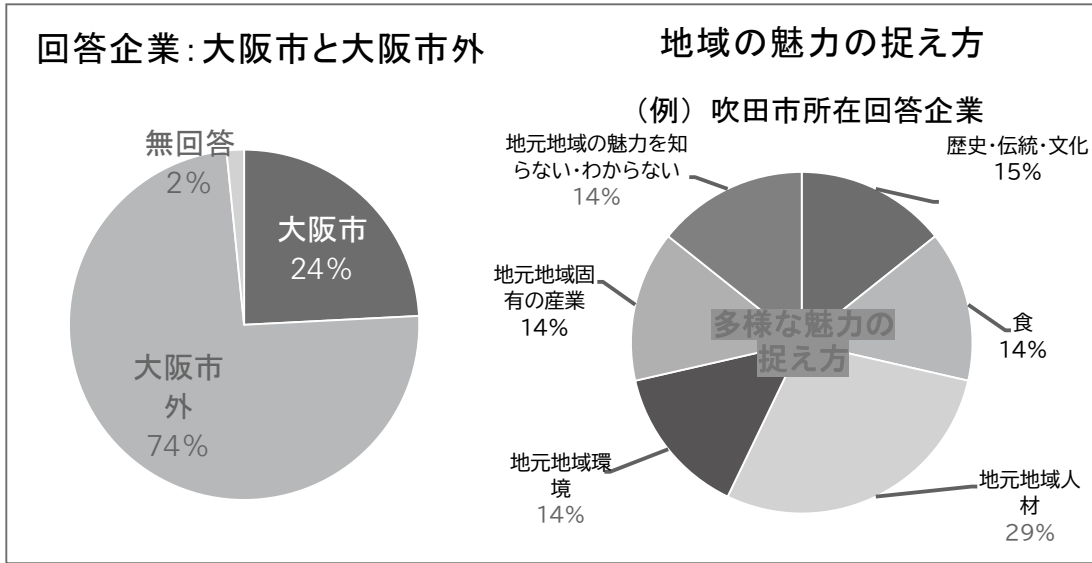
## 大阪府・中小企業アンケート調査実施

「企業目線での地域の魅力と関係人口・活動人口の創出」



62社回答／300社送付

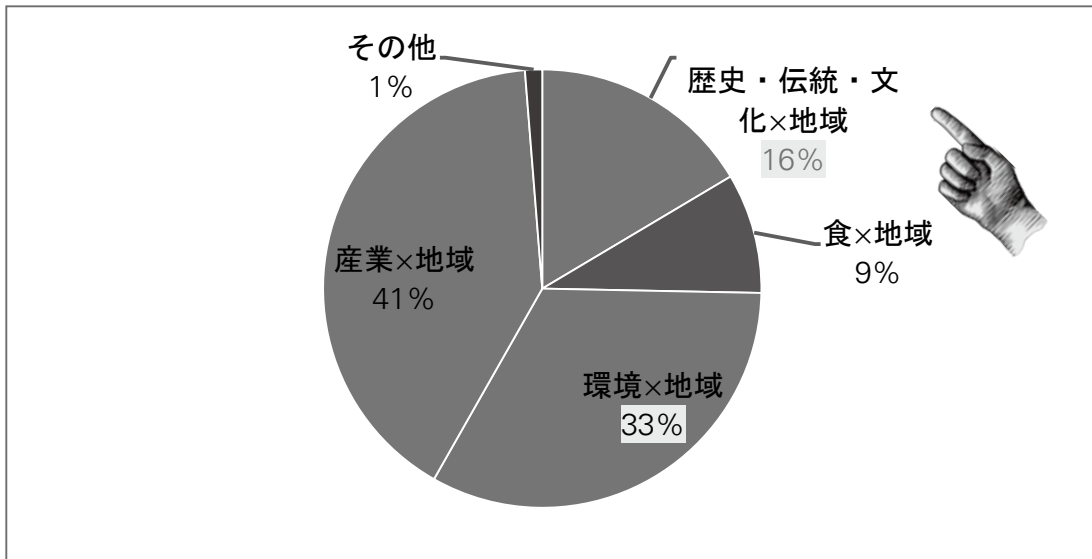
## 回答企業の地域と地域魅力の捉え方



2022/9/30

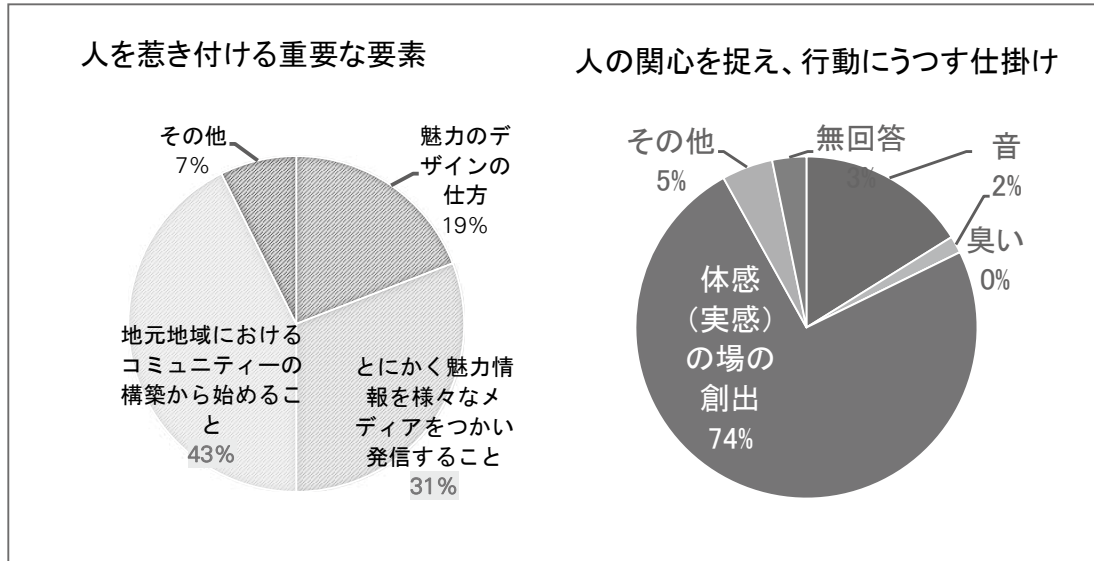
9

## サポートしている、してみた分野



10

## 魅力発信の要素



11



## 地域の魅力と関係人口の創出-各地の事例

### 屋外マーケット 市民参加型ワークショップ「マーケットの学校」

埼玉県北本市

マーケットは、単なる売り買いの場だけでなく、まちの魅力を知れたり、創業支援の場となったり、地域で活動している人たちが繋がれる場としての機能も有しており、まちを知る・好きになる・参加したくなるきっかけになる。



出所:埼玉県北本市「マーケットの学校」と&green market」  
[https://www.city.nikaho.akita.jp/soshikikarasagasu/sogoseisakuka/gyomuannai/12\\_1/tiikinomiryokuhassin/index.html](https://www.city.nikaho.akita.jp/soshikikarasagasu/sogoseisakuka/gyomuannai/12_1/tiikinomiryokuhassin/index.html)より抜粋

12



## 地域の魅力と関係人口の創出-各地の事例

### シビックプライドの醸成

### 「だてフォト部」の創設

伊達市保原町

伊達市の魅力を市内外の皆さんに広く知っていただくために、市が開設するSNSなどを通じて画像や映像により地域の魅力を発信するボランティアサポーターです。地域の魅力を再発見し、発信することでシビックプライドの醸成や、伊達市のイメージ向上及び関心度・関与の向上などにより関係人口・交流人口の増加を目的としています。景色や食べ物、お祭り、日常の良いところなど伊達市の魅力を伝えるため令和3年7月から活動。

#### SNS投稿以外の活動

- 伊達市の魅力写真展の開催（令和3年度開催）
- プロカメラマンによる無料の写真撮影会「I LOVE DATE」の運営補助（令和3年度開催）



出所:伊達市保原市「だてフォト部」  
[https://www.city.nikaho.akita.jp/soshikikarasagasu/sogoseisakuka/gyomuannai/12\\_1/tiikinomiryokuhassin/index.html](https://www.city.nikaho.akita.jp/soshikikarasagasu/sogoseisakuka/gyomuannai/12_1/tiikinomiryokuhassin/index.html)より抜粋

13



## 地域の魅力と関係人口の創出-各地の事例

### JTB×自治体

ふるさと納税制度を活用



全国的展開

ワークショップの参加者は、地元の魅力発掘発信の記者となり、地元の魅力の記事や動画で発表するスキルを学び、発表します。発表した魅力は、「ふるぽ」特設ページで紹介され、ふるさと納税のお礼の品として登録することもできます。

その土地を、  
ふるさとと  
想う人をつくる

ローカル魅力発掘発信プロジェクト

出所:JTB「ローカル魅力発掘発信プロジェクト『その土地を、ふるさとと想う人をつくる』」[https://furu-po.com/spage.php?nm=project\\_local](https://furu-po.com/spage.php?nm=project_local)より抜粋

14



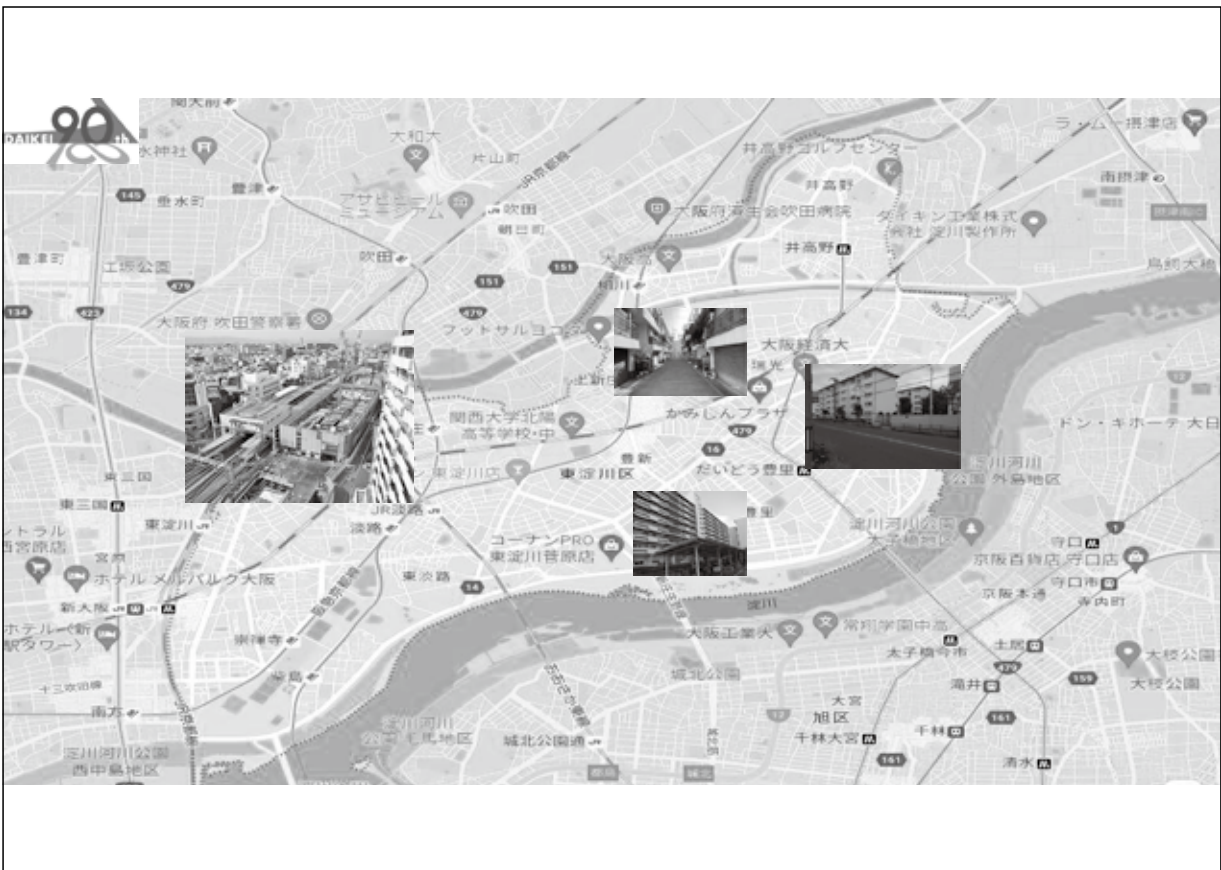
## 現在のわたしたちの取り組み

### “東淀川区魅力発見プロジェクト”参加活動



出所:東淀川区ホームページ  
<https://www.city.osaka.lg.jp/higashiyodogawa/page/0000558279.html>  
より抜粋

15







Z世代目線の発信  
自分のことばで発信

カテゴライズ

ターゲット層を決めない



歴史（御利益・安らぎ）



地域産業（伝統）



食（地域ならではの）

17



歴史魅力発見-めでたい・摩訶不思議

柴鳥神社

紅白の鳥居

2対の表情がユニークな狛犬たち



現地レポート

実は・・・  
人為と自然的

18



## 歴史魅力発見-癒しの空間と物語の世界

瑞光寺



### 現地レポート

住宅地の中にひっそりと佇んでいる絵本の世界

春日神社



### 現地レポート

境内の樹齢400年以上の大クスノキ、いにしえに思いを馳せましょう。

19



## 地域産業魅力発見-ジブリの世界

## 異次元の世界を体験

山田晒染工業



巨大な塩素窯



### 現地レポート

工場の世界  
手作業で職人業を間近で見る事が出来て貴重な体験ができる。

2022/9/30

20



## 地域産業魅力発見 - ものづくり・夢

### 飯田織工株式会社



### 現地レポート

地域とともに歩み全国・世界に羽ばたく

24時間TVのTシャツの染色や北京・ロンドンオリンピックの日本代表のユニフォームの染色

空き地を利用した綿花の自家栽培

社会見学・染物体験会

### 現地レポート

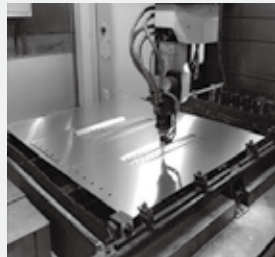
子ども達の希望・夢をかなえる

地域の小学生たちと、小学生の欲しいものの作成

小さなことからでも地域と連携し製品を作ったりして、地域活動を盛り上げる



豊里金属工業



## 地域「食」魅力発見～時代の変化を味わう～

### 菓匠 あさだ



中が餡で  
外が最中の  
作りになっている

### 和洋折衷の改革お菓子

時代に合わせて甘さを変化

目を引くような和菓子のデザイン

若年層への和菓子の魅力を伝えるために洋菓子と和菓子を混ぜた商品を販売



カスタードクリーム  
とあさだ特製あんこ  
入りのシュークリー  
ム



## 地域「食」魅力発見～地域ともに生きる味がある～

丸赤製菓系田川商店



大阪でもここだけ  
ウイスキーを使ったチョコレートボンボンの製造  
チョコレートボンボンを製造する上でニオイは発生したり、コンスターチの粉などが出してしまうことがあるが、地域の人柄のおかげでクリームもなく製造が行える



23



## 魅力発信のデザイン これからのわたしたちの取り組み



効果測定＝参加者層

ポスター  
ちらし・冊子  
作成・配布

魅力の  
体感

メディア  
発信

フォト  
コンテスト

ゼミナールでの  
ワークショップ



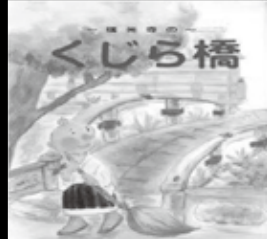
暮らしやすい。親しみやすい。

笑顔が集う街

# 東淀川区

## 東淀川のみなさん！

一緒に東淀川の身近な魅力を発見し、  
友達の輪を広げませんか？



大阪経済大学

学生地域魅力発見・発信チーム



ぶらり  
まち歩き

フォトコンテスト  
(賞品)

冊子発行

# 各団体の発表

## ■大阪成蹊大学 経営学部 大島ゼミ

|       |                                 |
|-------|---------------------------------|
| 活動テーマ | 自治体広報紙記事作成による「救急車の適正利用と消防活動」の啓発 |
| 活動場所  | 摂津市                             |
| 連携先   | 摂津市役所                           |
| 活動主体  | 大阪成蹊大学経営学部 大島ゼミ                 |

### 1. 活動概要

本学と連携協力に関する協定を締結している摂津市の広報紙「広報せつつ」の特集記事を作成・掲載して、ふだん「救急」「消防」に関して関心の高くない自分たちと同世代の若者も含む市民に対して、手書きのイラストなどわかりやすく親しみやすい内容でPR活動を行った。

### 2. 年間計画

令和4年4～5月 ゼミ活動の一環として活動開始、情報収集  
同 6～7月 現地視察、消防職員へのヒアリング等  
同 8～9月 摂津市広報課での職場体験として記事作成・編集作業等  
同 10月 摂津市広報紙「広報せつつ」2022年10月号発刊

### 3. 活動成果

大学生など若い世代を含む市民が、必ずしも正しく理解していない救急車の適正利用のあり方や消防活動について、全戸配布される自治体広報紙での特集記事掲載（6ページ）を通じて、手書きのイラストなどわかりやすい内容で啓発することで、コロナ禍で厳しい状況となっている救急車の運用などの改善につながることに寄与していく。

### 4. 地域からの評価

若い世代が市広報紙を読む機会が少なくなっている状況の中で、大学生が同じ世代の市民も関心を持ちやすい紙面作成をすることで、市民にとって重要な情報提供手段となっている広報紙が、あらゆる世代に読まれるようになることへ寄与してくれることを期待している。

### 5. 参考WEBサイト

広報紙「広報せつつ」  
<https://www.city.settsu.osaka.jp/soshiki/shichoukoushitsu/kouhouka/kouhousettsu/index.html>

## 6. 活動メンバー

経営学部3年 喜多村航己、宮 隆晟、工藤 大暉、西村 香穂

## 7. 担当教員

経営学部教授 大島 博文

## 8. 本活動に関する連絡先

|        |                        |                               |
|--------|------------------------|-------------------------------|
| 大 学 名  | 大阪成蹊大学                 |                               |
| 所属先・職名 | 教育研究支援統括本部産官学連携センター・課長 |                               |
| 氏 名    | 小倉 典洋                  |                               |
| 連絡先    | 電 話                    | 06-6829-2630 (内線: 3834)       |
|        | メー ル                   | sankangaku@osaka-seikei.ac.jp |

## 9. 活動の様子







# 広報紙記事作成を通じた 市民の安全・安心の推進 ～大阪成蹊大学×摂津市連携企画～

大阪成蹊大学 経営学部 大島ゼミ  
喜多村・宮・工藤・西村

## 企画の概要

摂津市広報課×大阪成蹊大学大島ゼミ



大阪成蹊大学と摂津市の連携協定



×



「広報せつつ」の特集ページを学生チームがゼミ活動等で作成

場所：大阪成蹊大学・摂津市役所・摂津消防署ほか

期間：2022年5月～9月の約半年間

**作成した特集ページは2022年10月号に掲載**

## 企画の狙い

### 【学生】

- ・地域連携を実践  
→実践力の向上  
大学での学びを実践する  
配慮ポイントやノウハウを理解
- ・活動ネットワークの拡大  
→連携力の向上  
地域や社会で活動するための人的  
ネットワークの拡大

### 【摂津市】

- ・学生と連携  
→話題作りにつなげる  
若い世代の意見を取り入れる  
過去にない紙面から読者の興味を惹く
- ・広報紙のかかえる課題の解決  
→面白い広報紙へ（カタイ印象の払拭）  
若者が広報紙を読むきっかけへ

## 広報紙って？



市の施設やサービスの情報が掲載される情報紙

### 【広報紙の課題】

- ・若い人が読まない
- ・カタイイメージ

特集ページ：課題に対し、  
情報を提示し、  
課題解決を目指す

画像：令和3年度摂津市広報紙2月号



## 10月号の特集ページのテーマ

### テーマ「救急・消防」

#### 【救急・消防の課題】

- ①救急車の適正利用
- ②火災予防
- ③人材募集

特集ページ：課題に対し、  
情報を提示し、  
課題解決を目指す

課題を解決することを常に意識して、広報紙を作る必要がある

## 救急車の適正利用って？

救急車の出動件数は年々増加傾向にある。

そんな中、緊急性の低い人の利用も増加傾向に…

- ・風邪、軽いケガなどの軽症者
- ・「良い病院に搬送してもらえそう」という考え
- ・通院や入院をする際のタクシー代わりに

本当に救急車が必要な人に迅速に向かえなくなる…

救急車が限られた医療資源だということを知ってもらう



## 救急安心センター事業 #7119について

「家族の様子がなんとなくおかしいけど、救急車呼んだ方が良いのかな...」

「具合が悪いけど病院に行った方がいいのかな...」



救急車を呼ぶべきか、病院に行くべきか判断のアドバイスを受けられるサービス  
医師や看護師等の専門家が救急相談に応じてくれる！

救急車の適正利用の発信には  
#7119がキーワード

病院へ行く？ 迷ったら...  
救急車を呼ぶ？

# 7 1 1 9

緊急だと思ったら、ためらわずに119番通報を!!



総務省消防庁・救急車の適時・適切な利用（適正利用）より

## 企画の流れ

5月：ヒアリング

6月：素案考案・消防インタビュー

7月：仮構想考案・摂津職員さんへ中間発表

8月：インターンシップ

9月：最終調整・最終報告会



摂津市マスコットキャラクター：セッピー

# 5月 ヒアリング

【場所】 大阪成蹊大学

【目的】

- ・ 広報紙の役割について理解する
- ・ 連携企画のテーマ

【内容】

- ・ 広報課職員の方による講義
- ・ 連携企画の内容確認
- ・ 質疑応答



【気づき】

- ・ 広報課の仕事内容について
- ・ 広報課の抱える課題と  
消防・救急の抱える課題  
の双方を解決する必要がある

# 6月 素案考案 消防インタビュー

【場所】 摂津消防署

【目的】

- ・ 素案で掲載する情報の収集
- ・ 情報発信の方向性の確認

【内容】

- ・ 広報紙の素案を考案
- ・ 課題を踏まえた上でのインタビュー
- ・ 消防・救急の課題の事実確認

【気づき】

- ・ 「適正利用」の発信の注意点
- ・ 火災予防の複雑さ



# 素案

p. 1-2

紙面

「私たちの火災予防」

火災予防

企画

「あなたのハートは？」

人材募集

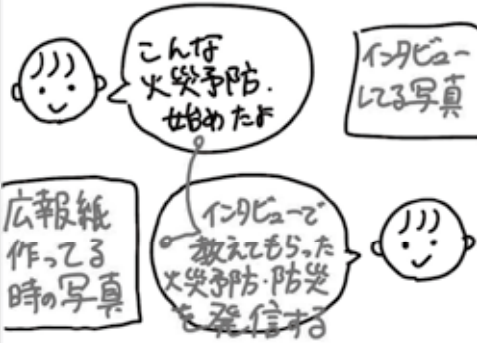
救急・消防士さんに聞く！

『あなたのハート』は？



ハート型の摂津市。  
摂津で活躍する救急・消防士さんの「ハート」を聞いてみました！

# 私たちの火災予防



摂津市 × 大阪成蹊大学

集合写真

インタビュー. の日に. 撮る. 楽しかった!

# 素案

p. 3-4

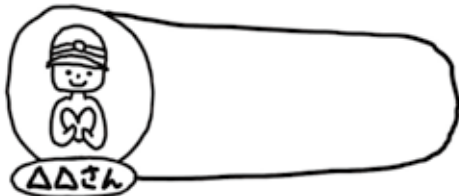
消防・救急職員の  
インタビューを載せ、  
仕事の魅力を伝える

インタビューを通して

2ページの紙面を  
統合することに

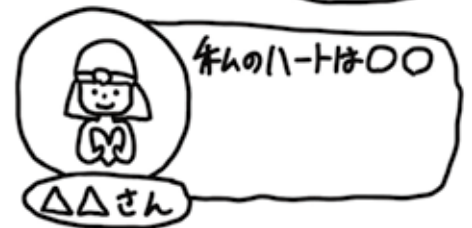
# 救急救命士

救急の伝えたい情報



# 消防士

消防の伝えたい情報



# 素案

p. 5-6

紙面  
「その電話、  
ちょっと待って！」

救急車の適正利用

こんな時は、  
迷わず119番



イザビエビ  
どんな時か聞く  
迷ったら#7119へ!

[ #7119の言説明 ]



適正利用の  
お願いの言葉(イザビエビ  
聞く)

その電話、  
ちょっと待って!!



不適正利用の  
データ

# 7月

## 仮構想考案 市職員へ中間発表

【場所】 大阪成蹊大学

【気づき】

【目的】

- ・どんな紙面にしたいのかを  
広報課職員さんに共有

- ・中間発表によって方向性の確認が取れる
- ・解決すべき課題に対応した特集づくり

【内容】

- ・消防インタビューを踏まえて、  
素案から仮構想へ
- ・仮構想を広報課職員さんへ発表
- ・フィードバック



# 仮構想

p.1-2

紙面の  
順番を変更

特集ページの  
「表紙」を追加

写真を配置

## 摂津市 × 大阪成蹊

今日からできる火災予防

『救急

## 大学連携企画

消防で知っておくべきこと』



大阪成蹊大学の学生と連携し、〇月号の特集ページを作成しました！

実は今、放火による火事が  
増えてきています…  
放火犯を止めるためにも、  
地域の住民での防災・防犯意  
識の向上が必要です！

火災の原因  
1位 ○○  
2位 ○○  
3位 ○○

原因の詳細



# 仮構想

p.3-4

文章を考案

イラストを追加

伝えたい  
メッセージ  
を考案

こんな時は、  
迷わず119番

意識・呼吸がない時 出血多量の時 普段と様子が違う時



迷ったら#7119へ！

救急車を呼ぶべきか、病院に行くべきか、  
判断のアドバイスを受けられる電話サービス。



その電話、  
ちょっと待って!!



摂津市には救急車が4台あります。  
しかし年々救急車の呼び出し件数が増えており、  
4台では市内全域をカバーすることが難しくなっています。  
救急車が本当に必要な方の元へ迅速に迎えるよう、  
正しい救急車の使い方を市民の方は知っておきましょう！



## 仮構想

p.5-6



## ハートのエピソード

大事に想う「ハート」についてインタビューしたよ!

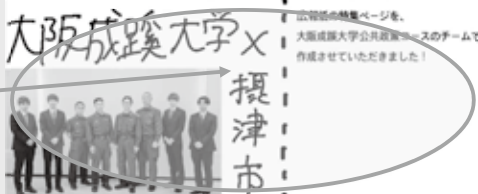
救急・消防士さんに聞く!

『あなたのハート』は?

インタビューしたい  
職員さんを  
ピックアップ

|   |   |
|---|---|
| どんなことが「励み」ですか?  |  |
| なぜそう思うようになりましたか?  |   |
| お仕事でやりがいを感じる瞬間を教えてください!   |   |
| 市民の方へメッセージをお願いします!  | 警備課 白井将真 消防士長   |
| 何に対して「感謝」されていますか?   |   |
| そう思うようになったきっかけのようなエピソードがあれば教えてください!   |   |
| なぜ消防という職業を選んだのでしょうか?  |   |
| 消防を目指す方にメッセージをお願いします!   |   |
|  | 警備課2課 長川東生 消防士  |

「終わりに」  
を追加



# 8月 インターンシップ

【場所】 摂津市役所・摂津市内各所

【気づき】

【目的】

- ・ 記事の作成方法を学ぶ
- ・ 写真撮影のポイントを学ぶ

- ・ 広報紙に使用する写真の画角や彩度
- ・ 無茶振りが自然な笑顔を生む

【内容】

- ・ 広報紙の校閲作業体験
- ・ 編集ソフトによる画像編集体験
- ・ 摂津市内を周り、写真撮影



# 9月 最終調整 市長報告会

【場所】 摂津市役所

【目的】

- ・ 特集ページの完成
- ・ 活動の総括

【内容】

- ・ 市職員作成した  
特集ページの修正提案
- ・ 広報紙に使用する写真撮影
- ・ 森山市長に連携企画の報告



【気づき】

- ・ レイアウトや色使いの工夫
- ・ 紙面における文字サイズの役割
- ・ 連携企画全体の振り返り
- ・ 連携企画を通しての反省点

完成版

p.1-2

学生の写真を追加

活動の様子の写真

連携企画らしい紙面へ

タイトルを大きく

一眼で分かるように

**火災の原因**  
1位 放火  
2位 配線器具  
3位 たばこ

**学生記者が考える 今日からできる火災予防**

**救急 消防**

大阪成蹊大学 × 摂津市広報課 連携企画

# 完成版

p.3-4

多くの職員さんの  
写真を追加

目を惹く楽しい紙面へ

職員さんの  
インタビュー

仕事の魅力の発信  
(人材募集へ)

## Pick Up

消防業務にインタビューしました。あな人が大活躍している「ハード」の現場について、聞いてきました！

**警備課**  
日誌：ABC

**消防第2課**  
日誌：消防工

## Interview

「あなたの「ハード」は？」

緊急救命士・消防士に聞きました！

「ハード」型の消防士。従来の救急隊士・消防士さんとは、どのような思い「ハード」を身に、日々の業務に臨んでいるのでしょうか。高木さんの「ハード」、聞いてください！

# 完成版

p.5-6

救急車の  
正しい使い方の発信

#7119の発信

救急の課題の解決へ

こんな時は迷わず 119 番

もちろん、緊急時は 119 番！ 早く「119」へ！

迷ったら…

# 7119 へ！  
または ☎ 06 (6582) 7119 へ

大阪成蹊大学 × 摂津市広報課

その電話、ちょっと待って！

本当に、「今」必要ですか？

自家用車やタクシーへ、公共交通機関などを使って、自分で病院に行きませんか？

救急車は限りある医療資源です

現在、摂津市には救急車が4台あります。しかし、救急車の運用数は年々減っており、4台中でも地域を巡回しかねる状況になってきています。つまり、本当に「今」必要か？

救急車は限りある医療資源です。正しい救急車の使い方を覚えておきましょう。

## 学び

- ・市発行情報紙での配慮事項（プラバシー等）
- ・業務の進め方（企画、調整、進行管理等）

## 苦勞した点

- ・広報紙と救急・消防の抱える課題の双方を解決すること
- ・備品の手配（ハート形の色紙）

## 反省点

- ・こまめな情報共有ができなかった
- ・メンバー全員の意見調整・集約

## おわりに

・多忙な中、長期間にわたってご協力いただいた摂津市広報課様、消防本部様に感謝申し上げます。

・今後も大学での学びを活かして、摂津市様をはじめ自治体や企業との連携事業を実践し、地域や社会の課題解決や発展に貢献していきます。



# 各団体の発表

## ■大阪電気通信大学

|       |  |
|-------|--|
| 活動テーマ | OECU カフェラボプロジェクト（2022年度報告）                   |
| 活動場所  | 大阪電気通信大学、寝屋川市野外活動センターNOA                     |
| 連携先   | 寝屋川市教育委員会事務局<br>社会教育部文化スポーツ室・寝屋川市野外活動センターNOA |
| 活動主体  | 大阪電気通信大学                                     |

### 1. 活動概要

OECU カフェラボプロジェクトでは、「古いものを愛でる、大切にする」をコンセプトに、使われていない大学内の古い研究室（ラボ）や備品をリメイクし、どこか懐かしさの漂うカフェにするリノベーション活動を行っています。これまでは、学内の古い居室や備品の再生、ガーデンの整備、地元のカフェのデッキテラスのリノベーションなどを実施してきましたが、昨年度末より、寝屋川市が所有する野外活動センターNOA（野外活動や自然体験活動ができる施設）の活性化のための企画を立案し、寝屋川市および当センターの運営会社に働きかけをしてきました。企画案の第1弾は、当センターの宿泊設備外装の部分塗装（プチリノベーション）によるイメージアップです。今回の発表では、その企画案と寝屋川市などに働きかけを行った結果などについて報告します。

### 2. 年間計画

4月       メンバー募集  
4～7月   寝屋川市野外活動センターNOAの視察、利用者データの分析、利用者アンケートの制作、企画案の制作、大学内のガーデンの整備、他  
8月末～  上記の利用者アンケートの実施  
9月初旬  寝屋川市、および、野外活動センターの運営会社へのプレゼンテーション  
9月中旬～11月  学内のガーデン、および、クラブ室のリノベーション、他  
12月       成果のまとめ（学内でのプレゼンテーション）

### 3. 活動成果

寝屋川市が所有する野外活動センターの活性化の企画立案のため、現地の視察、利用者データの分析、アンケートの制作と実施を行いました。9月初旬には、寝屋川市および当センターの運営会社に対してプレゼンテーションを行います。また、同時に学内のガーデン整備、および、クラブ室のリノベーションも実施しているので、併せて報告する予定です。

### 4. 地域からの評価

当日に報告します。

## 5. 参考 WEB サイト

<https://www.osakac.ac.jp/cafelabo/>  
<http://www.noa-outdoor.jp/>

## 6. 活動メンバー

|          |     |        |    |    |    |
|----------|-----|--------|----|----|----|
| 大阪電気通信大学 | 工学部 | 基礎理工学科 | 3年 | 藤井 | 愛美 |
|          |     | 同上     | 3年 | 齋藤 | 史翔 |
|          |     | 環境科学科  | 4年 | 清水 | 茉央 |
|          |     | 同上     | 2年 | 宮崎 | 礼  |
|          |     | 同上     | 2年 | 高橋 | 結菜 |
|          |     | 同上     | 3年 | 岩崎 | 裕和 |
|          |     | 同上     | 2年 | 前橋 | ヌイ |
|          |     | 同上     | 2年 | 納多 | 亮介 |

## 7. 担当教員

工学部環境科学科 中田 亮生  
教育開発推進センター 齊藤 幸一

## 8. 本活動に関する連絡先

|        |                            |
|--------|----------------------------|
| 大 学 名  | 大阪電気通信大学                   |
| 所属先・職名 | 工学部環境科学科・教授                |
| 氏 名    | 中田 亮生                      |
| 連絡先    | 電 話 072-824-1131           |
|        | メー ル a-nakata@osakac.ac.jp |

## 9. 活動の様子



# OECUカフェラボプロジェクト (2022年度活動報告)



大阪電気通信大学

工学部基礎理工学科

藤井 愛美、齋藤 史翔（3年）

工学部環境科学科

清水 茉央（4年）

岩崎 裕和（3年）

宮崎 礼、高橋 結菜、

前橋 ヌイ、納多 亮介（2年）



## ～「古いものを愛でる、大切にする」～

- ▶学内で使われていない古い研究室(ラボ)や備品をリメイク、ガーデンの整備といったカフェのような快適な空間を創造するリノベーション活動
- ▶リノベーション活動に必要な木材加工や装飾技術、住環境デザイン、CAD図面の見方や書き方の学習
- ▶歴史的建造物や美術館、庭園・町屋のリノベーション事例の見学・研修
- ▶オープンキャンパスや大学祭、高校生向けの学内見学でカフェラボの活動紹介






カフェラボ1号店(2017年大阪電気通信大学キャンパス内)









## Café Lab Archive (これまでの活動記録)





### Café Lab Archive (これまでの活動記録)

| 活動年度          | 主な活動内容   |
|---------------|--|
| 2016<br>(7人)  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 廃研究室の改装(カフェラボ1号店)</li> <li>・ 学内の廃品回収・再利用備品の仲介</li> </ul>   |
| 2017<br>(13人) | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ カフェラボ1号店に昭和の間(和室)、Atelier(アトリエ)、くじらカフェ(屋上ガーデン)を製作</li> <li>・ オープンキャンパス、大学祭等で一般公開</li> <li>・ インテリアCADの勉強会</li> <li>・ 伏見稲荷(京都) ならまち(奈良)などの見学</li> </ul>   |

## Café Lab Archive

| 活動年度         | 主な活動内容  |
|--------------|---|
| 2018<br>(5人) | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 厚生棟 1 階エントランスのリノベーションと自動販売機のオリジナルラッピング</li> <li>・ 大学祭において活動のポスター発表</li> <li>・ 京都北山にて美術館&amp;陶芸などの研修</li> </ul>    |
| 2019<br>(6人) | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 厚生棟 2 階クラブ室を町屋風カフェに改装(途中)</li> <li>・ ガーデンラボの作庭</li> <li>・ 五箇荘(滋賀)にて近江商人屋敷などの見学</li> </ul>    |

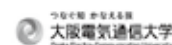
## Café Lab Archive

| 活動年度          | 主な活動内容   |
|---------------|--|
| 2020<br>(7人)  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域のカフェ「ゴマジェットカフェ」のデッキテラス席のリノベーション</li> <li>・ 厚生棟 2 階クラブ室を町屋風カフェに改装(途中)</li> </ul>    |
| 2021<br>(14人) | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 厚生棟1階クラブ室を「南イタリア洞窟ホテル風」に改装</li> <li>・ 厚生棟 2 階クラブ室を町屋風カフェに改装(途中)</li> <li>・ 大阪市中央公会堂・他の見学</li> <li>・ MBS「らいよんチャンネル」に出演</li> </ul>    |
| 2022 (17人)    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 寝屋川市野外活動センター活性化プランの提案</li> </ul>  |

## 2. 寝屋川市野外活動センター活性化プランの提案

本内容については、2022年9月12日、当センターを所有する寝屋川市の教育委員会事務局社会教育部文化スポーツ室のご担当者様、および、運営する特定非営利活動法人ナック（NAC）所長様を訪問し、プレゼンテーションを行いました。

### 寝屋川市野外活動センターの概要（1）



寝屋川市野外活動センター（NOA）は、金剛生駒 紀泉国定公園の山脈（やまなみ）に抱かれた豊かな自然のなかにある野外活動や自然体験活動ができる生涯学習のための施設です。高齢者から幼児までご利用いただけます。

（ホームページより）



- 所在地：〒575-0012 大阪府四條畷市下田原2237
- 所有：寝屋川市（教育委員会事務局社会教育部文化スポーツ室）
- 運営：特定非営利活動法人ナック（NAC）、URL：<http://noa-outdoor.jp/index.html>

- 施設の目的：キャンプ、生物観察・天体観測、モノづくり、環境教育など、主に子供から大人まで、アウトドア体験学習ができるプログラムを備えた施設。
- 宿泊施設：森の中に点在する10棟（18室）のロッジ（収容定員：300名以上）
- 屋外炊飯場（かまど約20セット）などの設備
- ステージ、キャンプファイヤー設置可能な広場
- 工作室、天体ドームなどの学習施設
- ボランティアスタッフ（学生含む）が指導
- 自炊のための食材発注、持ち込み可
- 駐車場：乗用車約30台収容可

## 寝屋川市野外活動センター条例（抜粋）

第1条 野外活動その他社会教育に係る学習の場を提供し、生涯学習の振興に寄与するため、野外活動センター（以下「センター」という。）を設置する。

第3条 センターは、第1条の目的を達成するため、次の各号に掲げる事業を行う。

(1) センターの施設（センター内のロッジ、工作室、会議室その他教育委員会の定める施設をいう。以下同じ。）を野外活動その他社会教育に係る学習の用に供すること。

(2) 野外における学習に関すること。

(3) レクリエーションの活動に関すること。

(4) 前3号に掲げるもののほか、第1条の目的を達成するために必要な事業

①寝屋川市様より頂いた利用者数データの分析

②独自アンケートの実施

(現在、取りまとめ中のため、中間報告です)

①寝屋川市様から頂いた利用者データの分析

<分析のまとめ(途中経過)>

- 暖候期(4月から9月)の利用が寒候期に比べて多い。
- 幼児・小学生の利用が多い。
- 日帰りが宿泊者よりもやや多い。
- 週末に利用者が集中している。
- 市内・市外の割合は概ね同じ。
- ファミリー・団体の区別では、ファミリーの方が件数でやや多いが、人数では団体の方が数倍多い。



学生以上の若年層の利用が少ない（のでは？）



この層を引き付ける工夫が  
利用者増につながる可能性がある。  
(若年層が気軽に訪れ豊かな自然を感じられる癒しの場の提供)

NOA活性化第1段階としての提案

- ・ 自然に囲まれたNOAの強みを最大限に生かし、
- ・ 現状でも無理なく実現できる低予算・短期間で、
- ・ カフェラボプロジェクトのこれまでの活動経験が生き、
- ・ 大学生・独身者を引き付ける、

「NOAのイメージチェンジを実現できる提案」  
として

小ロジ6棟の外装のプチ塗装

を提案します。

## オオルリ外装の塗装案

before



after



## オオルリ外装の塗装案 (before)





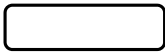





## オオルリ外装の塗装案 (after)



## プチ塗装のアクセントカラーのコーディネート案

| ロッジ名 | アクセントカラー |   |
|------|----------|---|
| オオルリ | 瑠璃色      |  |
| セキレイ | グレー      |  |
| メジロ  | オリーブ     |  |
| ヒヨドリ | オレンジ     |  |
| ホオジロ | 白        |  |
| ウグイス | うぐいす色    |  |

ロッジ名の鳥に合わせてアクセントカラーを決定

各ロッジの塗装後のイメージ（セキレイ・ヒヨドリ）



セキレイ



ヒヨドリ

各ロッジの塗装後のイメージ（メジロ・ホオジロ）



メジロ



ホオジロ

## 各ロッジの塗装後のイメージ（ウグイス）



ウグイス

## プラン提案後の協議と今後の予定

学生フォーラム当日に報告予定です。

# 各団体の発表

## ■摂南大学 経営学部 鶴坂ゼミ

|       |                       |
|-------|-----------------------|
| 活動テーマ | 地元商店街での新規顧客開拓活動       |
| 活動場所  | 大阪府寝屋川市               |
| 連携先   | 大和商店街振興組合、日本たばこ産業株式会社 |
| 活動主体  | 摂南大学 経営学部 鶴坂ゼミ        |

### 1. 活動概要

本学の所在地である寝屋川市には、長年、地元住民から親しまれてきた大和商店街振興組合（店舗数80店）がある。同商店街は近年、顧客の高齢化や周辺小売店との競争激化に伴い来街者数の減少という課題を抱えている。そこで、鶴坂ゼミでは、子育て世代をターゲットにして新たな顧客層の開拓を行っている。具体的には商店街の店舗の魅力を発信するため、①商店街マップの作成（紙及びネット）、②YouTubeチャンネルの開設と店舗紹介動画の制作・公開、③夏祭りなどのイベント実施、④子どもに親しみを持ってもらうための新しいマスコットキャラクターの開発、グッズ制作等に取り組んでいる。

### 2. 年間計画

- ①店舗紹介動画：年間4本程度の作成、公開、再生回数・チャンネル登録数向上のための取組
- ②イベント：7月夏祭り、10月ハロウィン、2月バレンタイン
- ③マスコットキャラクター：グッズ開発、紙芝居動画作成
- ④商店街マップ：改訂版（2022年版）の作成

### 3. 活動成果

- ①店舗紹介動画：YouTubeチャンネル「ベル大和商店街応援チャンネル」開設  
現在10本の動画を公開
- ②イベント：夏祭り 延べ参加者1921名（幼児～高校生）
- ③マスコットキャラクター：「こまた」「こまみ」を開発。缶バッジ制作販売（116個販売済み）
- ④商店街マップ：2021年度作成分3000部 商店街内商店及来街者に配布、大和商店街ホームページに掲載

#### 4. 地域からの評価

大和商店街の商店街活動は商店街組合の役員を中心に行っているが、自店の商売もあり様々な制約が大きく、マンネリ化になりがちである。学生が活動することによって、新しい感覚の取組がなされ商店街活動が活性化される。さらに来街者の多くが高齢者であるため、大学生が活動することで活気が生まれ商店街の雰囲気が明るくなる。また、商店街の店主が周辺の保育所等にイベント案内のチラシを持って行っても、営利目的ということで受け取ってもらえないが、ゼミ活動であれば学びの一環、そして地域貢献ということで、受け取ってもらえることができ商店街でのイベント等の周知がしやすい。商店街に直接関係のない学生が前向きに活動しているのをみて、商店街内の店主も商売や商店街活動に前向きになる。といった評価の声がある。

#### 5. 参考WEBサイト

<http://www.setsunan.ac.jp/gakubu-in/keiei/news/detail.html?id=5676>  
<http://www.setsunan.ac.jp/gakubu-in/keiei/news/detail.html?id=5695>  
<https://www.neyagawa-np.jp/event/bell-otoshi-20220731.html>

#### 6. 活動メンバー

経営学部 2年  
小田美紗子、中島 理結、西方 綾乃、藤井 健博、松垣 祐香、松田 光代  
経営学部 3年  
植木園里菜、大治 萌香、佐竹麟太朗、比嘉 萌恵、松尾 怜奈、松藤 空太、松本 紗和、森 哲平、山口 愛、山田蓮汰郎

#### 7. 担当教員

経営学部 教授 鶴坂 貴恵

#### 8. 本活動に関する連絡先

|        |         |                             |
|--------|---------|-----------------------------|
| 大 学 名  | 摂南大学    |                             |
| 所属先・職名 | 経営学部 教授 |                             |
| 氏 名    | 鶴坂 貴恵   |                             |
| 連絡先    | 電 話     | 090-5068-3061               |
|        | メ ール    | t-turusa@kjo.setsunan.ac.jp |

## 9. 活動の様子



※活動の様子はP.50のWEBサイトをご覧ください

## 地元商店街での 新規顧客開拓活動

経営学部 鶴坂ゼミ

## 説明内容



- 1 ベル大和商店街について
- 2 商店街を取り巻く環境
- 3 活動の目標
- 4 2021年度に実施したこと
- 5 2022年度の活動内容・成果
- 6 商店街の課題について
- 7 活動して得た力・成長した点
- 8 今後の活動展開

# 1 ベル大利商店街について



■住所:寝屋川市東大利町12-21



出典:Google Map

## ■大利商店街振興組合

- 延長約250mに衣料・日用雑貨、食料品、飲食店など約80店舗の商店がある。
- 平成15年にはアーケードとカラー舗装をリニューアル。
- 現在、ポイントカード事業にも取り組んでいる。

### 商店街のキャラクター

ベルちゃん



としちゃん



出典:大利商店街振興組合ホームページ、  
<http://www.bell-otoshi.com/>



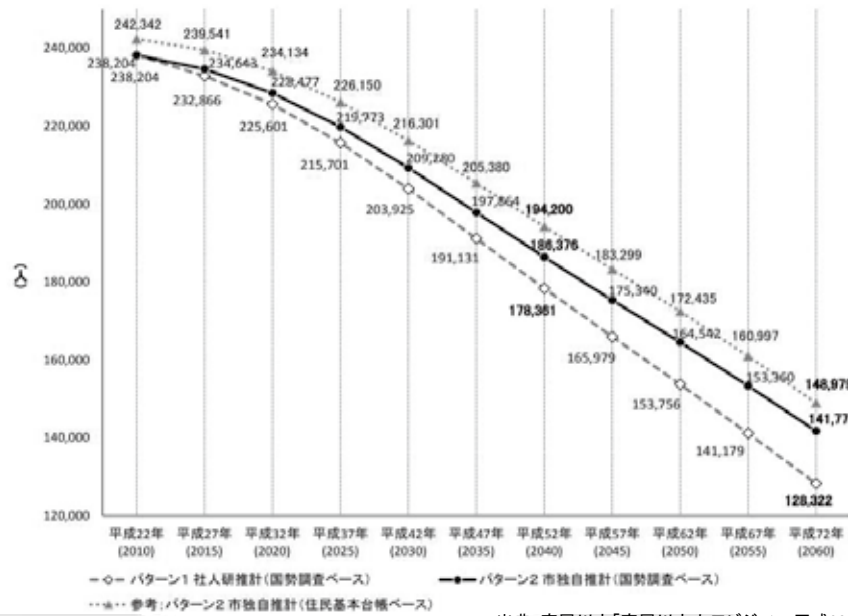
## 2 商店街を取り巻く環境



SETSU DAI

### 人口減少

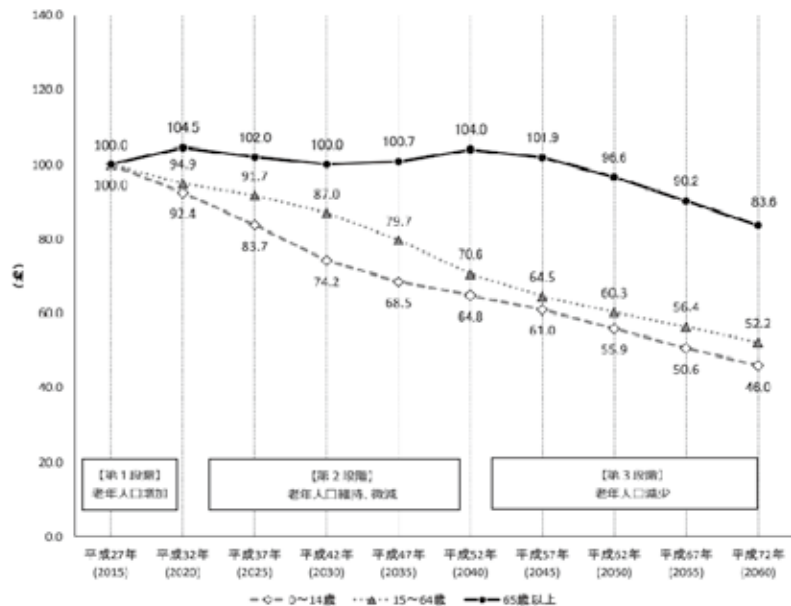
寝屋川市の将来人口推計結果（総人口）



出典: 寝屋川市「寝屋川市人口ビジョン」平成28年2月

### 少子高齢化

寝屋川市の人口減少段階 (指数 平成27年推計人口=100)



出典: 寝屋川市「寝屋川市人口ビジョン」平成28年2月

## 競争の激化



SETSU DAI

### ■ 周辺のショッピングセンター ■ 競合店の状況

- アルプラザ香里園 寝屋川市日新町5-5
- ジャガーグリーン 守口市佐太東町2丁目6-14
- イオンモール大日 守口市大日東町1番18号
- イオンモール四条畷四條畷市砂4丁目



出典: 日本全国スーパーマーケット情報  
<https://ajsm.jp/Area27215.html>

- 寝屋川市の人口は減少、少子高齢化
- 寝屋川市及び近隣都市には商店街内の商店と競合する大型店が多数立地している。



- 商店街の顧客は高齢化し減少している
- 競争が厳しく商圈は狭くなっている
  - 自転車や徒歩で来られる範囲、大きくても半径2キロ程度



SETSU DAI

### 3 活動の目標



#### ■新たな顧客層の開拓

- ターゲットは子育て世代
- ベル大利商店街近隣の子育て世代の人々に商店街の存在、商店街のお店を知ってもらう。
- 商店街を体験してもらう。



- 商店街を利用してもらう。  
「我が家の冷蔵庫代わりになる商店街!」
- 商店街のファンになってもらう

### 4 2021年度に実施したこと



#### ■鶴坂ゼミ2年生、3年生で取り組む

#### ■ベル大利商店街を知ってもらう

- 商店を紹介する動画を作成 8店

YouTube「ベル大利商店街応援チャンネル」を開設し配信

#### ■マップの作成と配布

- ・アナログ版マップ 3000部
- ・デジタル版マップ

→<http://www.bell-otoshi.com/shop/>



## ■大阪府商店街等モデル創出普及事業に採択

### ■府内商店街の取組み事例集でも紹介される



出典：大阪府商店街等モデル創出普及事業取組み事例集

<https://www.pref.osaka.lg.jp/attach/42287/00415430/jireisyuu.pdf>

## 5 2022年度の活動内容・成果 I

### ①子育て世代対象のイベントの企画・開催

#### ◎夏祭り(2022年7月29日開催)

・スーパーボールすくい、コイン落とし、わなげ、ストラックアウト、まとあて、ボウリングの6つの出店を用意。

→SDGsを意識して行った。

5(ジェンダー平等を実現しよう)…順番に並ぶ

11(住み続けられるまちづくりを)…ゴミ箱を設置、ゴミ拾い、挨拶

12(つくる責任 つかう責任)

…出店に必要な物を作成する際に、無駄使いをせず使わなくなった段ボール等リサイクルして作成、環境にやさしい素材を使用



SETSDAI

- ・夏祭り参加券を幼稚園と保育園、期間内に商店街で買い物をしてくださったお客様に配布。
- ・夏祭り当日、マスコット班が作成した缶バッチを購入してくださった方に配布。(100円の缶バッチ1つにつき2枚)
- ・コロナウイルス対策で入り口での消毒、検温を行った。



- ・参加券約2000枚使用された。
- ・缶バッチの売上116個(11,600円)



## イベントの様子



SETSDAI





## 5 2022年度の活動内容と成果2



### ②新しいキャラクターの育成

2021年に生まれたこまた(画像右)こまみ(画像左)を商店街の新しいキャラクターとして育成する。

- ・こまた、こまみにストーリーを作成  
→愛着を持ってもらいやすいようにした
- ・こまた、こまみのグッズ作成  
→イベントにて缶バッジを販売(デザイン含む)



## 5 2022年度の活動内容と成果3



### ③動画作成

- ・商店街の店舗の紹介も兼ねた、その店舗の商品のレシピ紹介動画を作成
- ・きみとホイップ「カステラレシピ」
- ・とり天本舗「とり天講座」



## 6 商店街の課題について



- ・ 顧客の高齢化、新規顧客の減少

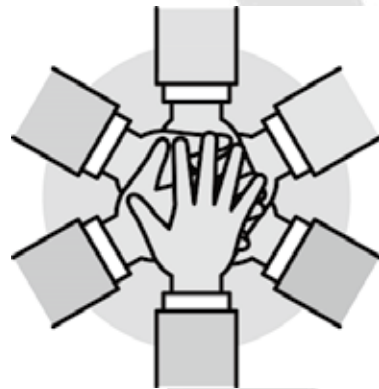
→ 昔から商店街を利用している顧客は利用し続けているが、新規顧客が求めているようなお店や商品が知られていない、またはない。

高齢者向けの商品が多い。

## 7 活動で得た力、成長した点



- ・自分たちで企画の立案から実行する計画性
- ・起こりえる問題を予測し、行動できるようになった。
- ・動画編集の方法
- ・団結力





## 8 今後の活動展開



- ・10月ハロウィン、12月クリスマス、2月バレンタインにイベントを実施予定
- ・こまた、こまみのストーリーをアニメーション化予定
- ・新たな動画を数本作成予定



出典: 寝屋川つーしん「ベル大利商店街のハロウインの飾りつけ」<https://www.neyagawa-np.jp/photo/photo-bell-otoshi-halloween-20201014.html>

## 参考文献



- 寝屋川市「人口ビジョン」平成28年2月
- 日本全国スーパーマーケット情報「寝屋川市」<https://ajsm.jp/Area27215.html>、2022年9月12日閲覧
- 大阪府商工労働部「大阪府商店街等モデル創出普及事業取組み事例集」<https://www.pref.osaka.lg.jp/attach/42287/00415430/jireisyuu.pdf>、2022年9月12日
- Google map
- 大利商店街振興組合ホームページ、<http://www.bell-otoshi.com/>、2022年8月25日閲覧
- 寝屋川つーしん「ベル大利商店街のハロウインの飾りつけ」<https://www.neyagawa-np.jp/photo/photo-bell-otoshi-halloween-20201014.html>、2022年9月12日閲覧
- 経済産業省「商店街実態調査報告」平成31年3月



SETSDAI

ご清聴ありがとうございました

## 当日の様子



荻田部会長 開会挨拶



摂南大学 発表



大阪成蹊大学 発表



大阪工業大学 発表



大阪電気通信大学 発表



推進委員 講評



久委員長 閉会挨拶



集合写真

## 学生運営メンバー 活動実績

### 1. 活動スケジュール

| 回   | 開催日    | 検討内容等                                   |
|-----|--------|---|
| 第1回 | 8月8日   | キックオフミーティング<br>(自己紹介・役割分担・企画ブレインストーミング) |
| 第2回 | 8月29日  | 会場下見・ミーティング(企画案の検討)                     |
| 第3回 | 9月6日   | オンラインミーティング(企画の検討)                      |
| 第4回 | 10月4日  | オンラインミーティング(事前交流会の企画検討)                 |
| 第5回 | 10月8日  | 事前交流会の運営・企画実施                           |
| 第6回 | 10月21日 | オンラインミーティング(当日の企画検討)                    |
| 第7回 | 10月23日 | フォーラム本番の運営・企画実施                         |

※その他、学生主導で企画・検討

### 2. 学生運営メンバー (6大学13名)

| NO. | 氏名     | 大学名           | 学部・学科                       | 学年           |
|-----|--------|---------------|-----------------------------|--------------|
| 1   | 森島 湧喜  | 大阪教育大学        | 教育学部 教育協働学科                 | 2年           |
| 2   | 中尾 和佳奈 | 大阪公立大学<br>大学院 | 農学研究科 応用生物科学専攻              | 博士前期課程<br>1年 |
| 3   | 川西 楓子  | 追手門学院大学       | 社会学部 社会学科                   | 3年           |
| 4   | 西村 望   | 追手門学院大学       | 心理学部 心理学科                   | 3年           |
| 5   | 堀 瑞希   | 追手門学院大学       | 心理学部 心理学科                   | 3年           |
| 6   | 長田 美海  | 近畿大学          | 総合社会学部 総合社会学科<br>環境まちづくり系専攻 | 2年           |
| 7   | 望月 李花  | 近畿大学          | 総合社会学部 総合社会学科<br>環境まちづくり専攻  | 2年           |
| 8   | 前田 香菜子 | 四天王寺大学        | 経営学部 経営学科                   | 1年           |
| 9   | 梅本 則佳  | 四天王寺大学        | 経営学部 経営学科                   | 3年           |
| 10  | 坂田 裕哉  | 四天王寺大学        | 人文社会学部 社会学科                 | 3年           |
| 11  | 古川 千佳  | 摂南大学          | 農学部 食品栄養学科                  | 2年           |
| 12  | 井上 涼平  | 摂南大学          | 農学部 農業生産学科                  | 3年           |
| 13  | 村井 豊明  | 摂南大学          | 農学部 食農ビジネス学科                | 3年           |

※大学名五十音順

### 3. 活動の様子

|  |  |
|--|--|
| <p>キックオフミーティング（第1回）</p>   | <p>運営メンバーの顔合わせとして対面開催しました。自己紹介シートを使って、まずお互いを知り合うことからスタート。</p> <p>学生フォーラム当日までのスケジュールを確認しながら、広報、企画のチーム分けを行い、それぞれで今後の企画内容についてブレインストーミングを行いました。</p>  |
| <p>フォーラムオリジナルロゴ</p>      | <p>フォーラムのテーマに合わせて広報チームが中心となってロゴを検討しました。</p> <p>今年のテーマ「大阪の大学生発！私たちのアイデアでまち・地域を元気UP！」をイメージし、大阪のたこ焼きと矢印で「元気UP」、赤い炎は目に見える情熱、青い炎は心の中で燃える意志を表現しました。</p> <p>大阪の学生による地域連携活動が大阪の活力となることを信じて……</p>   |
| <p>事前交流会（10月8日）</p>     | <p>当日をスムーズに迎えられるよう、学生発表者と運営メンバーの親睦の機会として事前交流会を開催しました。発表チームの活動概要の紹介に続いて、グループに分かれて様々なゲームで場を盛り上げました。</p>  |
| <p>フォーラム当日（10月23日）</p>  | <p>学生フォーラム当日。</p> <p>午前中にリハーサルや最終確認を行い、本番を迎えました。</p> <p>それぞれのメンバーが臨機応変に対応し、スムーズにフォーラムが進行しました。</p> <p>また、交流企画では「大阪府創造市アイデア区～大学生が考える元気な大阪を創造しよう～」をテーマに理想の大阪を参加者で話し合いながら、一枚の模造紙に描く企画を行いました。</p> <p>最後にそれぞれのグループの理想の街「大阪」を全体で共有しました。</p> |

## 学生運営メンバー 当日の活躍ぶり



ウェルカムボード



受付



案内



案内



案内



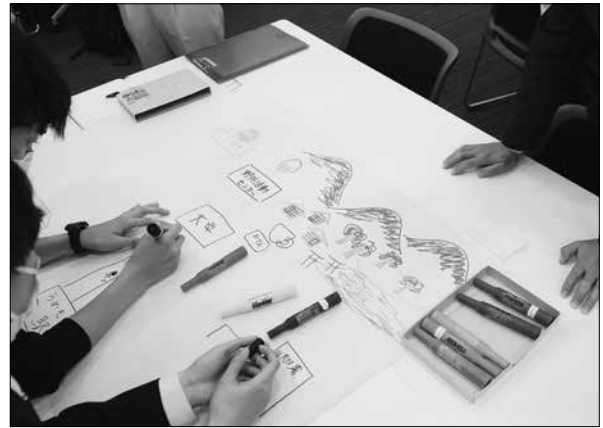
司会



発表者のサポート



タイムキーパー



交流企画



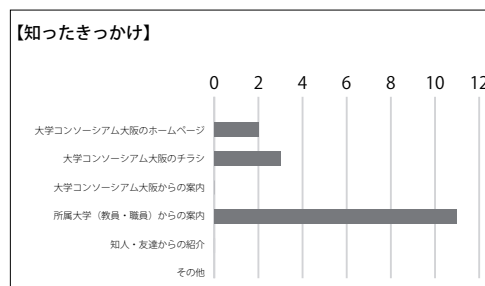
交流企画

# 学生運営メンバー アンケート集計

(回答者11名)

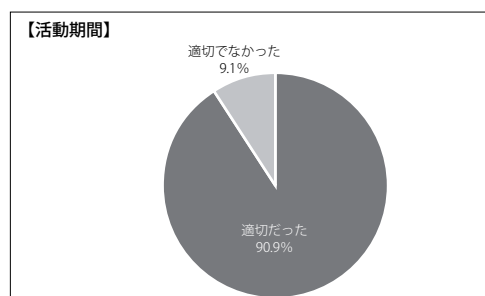
## 1. 学生運営メンバー募集を知ったきっかけ (複数選択可)

|                      |    |
|----------------------|----|
| 1 大学コンソーシアム大阪のホームページ | 2  |
| 2 大学コンソーシアム大阪のチラシ    | 3  |
| 3 大学コンソーシアム大阪からの案内   | 0  |
| 4 所属大学(教員・職員)からの案内   | 11 |
| 5 知人・友達からの紹介         | 0  |
| 6 その他                | 0  |



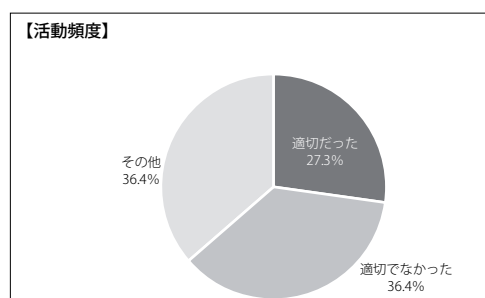
## 2. 活動期間について

|           |    |
|-----------|----|
| 1 適切だった   | 10 |
| 2 適切でなかった | 1  |
| 3 その他     | 0  |



## 3. 活動頻度について

|           |   |
|-----------|---|
| 1 適切だった   | 3 |
| 2 適切でなかった | 4 |
| 3 その他     | 4 |



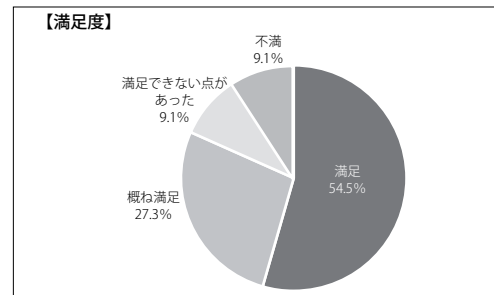
### 【その他】

- 企画会議をもう少し詰めた方がよかったかもしれない。
- 広報、企画ですり合わせをするミーティングの頻度は適切だったと思う。その時まで学生たちがやることを準備する時間を自分たちで取れなかったのがいけなかったと思う。
- 日程が合いにくく活動をより深めるには少し足りなかったのかなと感じた。
- 自主的に活動できる場合は今回の頻度で問題ないと思うが、もう少し全体でのミーティング回数が多い方が、全員で情報を共有でき余裕を持って進められたかもしれない。



#### 4. 活動を通じた自身の満足度

|               |   |
|---------------|---|
| 1 満足          | 6 |
| 2 概ね満足        | 3 |
| 3 満足できない点があった | 1 |
| 4 不満          | 1 |



#### 【上記を選んだ理由】

##### 満足

- ・他大学の人との交流や初対面の人とイベントをやり切った時の達成感がとてもよかった。
- ・終わりよければすべてよしという言葉もあるように、とても満足した活動であった。
- ・学校にいただけではできないたくさんの良い経験ができた。
- ・楽しかった。
- ・チラシ作成やSNS発信からイベント運営まで、幅広い仕事を経験できたため満足。また、他大学の学生と一緒に活動できたことで人脈が広がり楽しかった。
- ・運営メンバーの中でも率先して動いてくださった方のお陰で、ギリギリの日程でも最終的にまとめあげることが出来たと思う。もちろん、それぞれが様々な方向で企画をサポート出来ていたからというものもあると思う。とにかく、事前交流会や発表当日も、皆が楽しめる形となって良かったと思った。

##### 概ね満足

- ・もう少し時間を割いたら良かったと思う。学校の課題など、他のことを優先していた。
- ・自分もつ得意なことに確信をもつことができた事は良かったが、予定が合わず当日までの準備をしっかりとできなかった事と当日の担当である照明係の仕事でもっと良いタイミングで点灯消灯できれば良かった事が心残りである。
- ・あまり会議が出来なかったが、当日はうまくいった。

##### 満足できない点があった

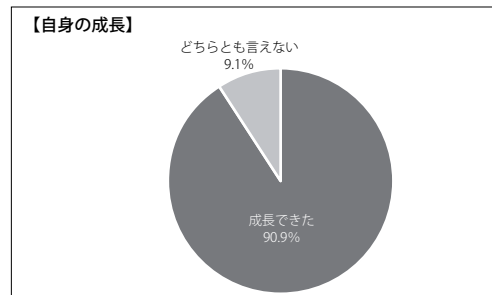
- ・他者との意見交換で得た学びが少なかった。

##### 不満

- ・もう少し積極的に活動に参加したかったが、日程調整を始める期間が調整期限に近かったため空いてる日が少なくなってしまった。

## 5. 活動を通じて、自身を成長させることができたか。

|             |    |
|-------------|----|
| 1 できた       | 10 |
| 2 できなかった    | 0  |
| 3 どちらとも言えない | 1  |



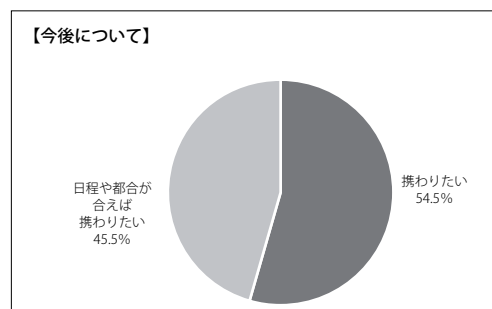
### 【上記を選んだ理由】

#### 成長できた

- ・他大学と関わるイベントが初めてでいろんな人と関わることで自分の視野が広がった。
  - ・自分が立つべき位置を教えてくれたいい機会であった。
  - ・自身が苦手と思っていたことに挑戦したことで成長できたと思った。
  - ・SNSで自分たちの取り組む活動をどのように伝えれば適切に伝わるか考える力がつき、また、他大学の方や関係者の方とのトーク力がついたと感じた。
  - ・周りを見れたと思う。
  - ・発表するイベントなどを運営することはなかったので、雰囲気を知ることが出来たし他のイベントで取り入れたいと思った。
  - ・チームをまとめることに対して今まで苦手意識があったが、自分から進んでミーティングの日程調整をしたり、みんなの意見をまとめたりすることが自然とできるようになったと思う。
  - ・自分の意見を発言したりまたそれが企画を進める手がかりとなったことで、自分が今後社会に出ていくための良い訓練となった。
  - ・色々な大学生の活動発表を聞き、大阪について改めて沢山のことを知ることができた。運営メンバーとして、1つの目標に向かって学生だけで企画を練っていく事の大変さも学ぶことが出来た。初めての事で力不足だったと思うが、これからの自分の活動に役立てていける、第一歩となった気がします。
- どちらとも言えない
- ・普段とやっていることが変わらないため。

## 6. 今後も同様のイベントの企画・運営に携わりたいか

|                  |   |
|------------------|---|
| 1 携わりたい          | 6 |
| 2 日程や都合が合えば携わりたい | 5 |
| 3 携わりたくない        | 0 |



## 7. この活動に参加した感想や上記で回答した以外の意見

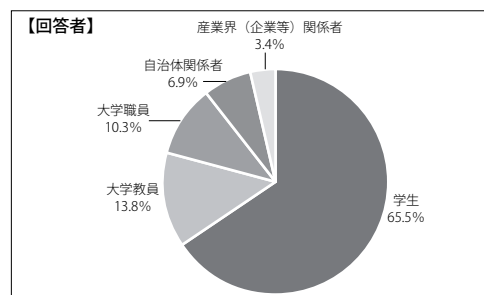
- 最初はあまり関わる事が出来なかったが、イベントを最後までやり切ることが出来てとても楽しかったです。  
大学内での関わりは学生のやる気次第でどうにかなる場合がありますが、他大学と一緒にになると少しハードルが高い気がします。  
しかし、コンソーシアムを起点にイベントを行うことで地元を活性化させたり、各大学の特色を活かした活動ができるのではないかと感じました。
- 連絡が滞って話が進まなかった印象が一番残念でした。事務局の方が全員にLINEで情報共有した方がよいと思いました。
- 地域のことを考える事は素敵なことだと感じました。食品栄養について学んでいる中でも地元や学校のある土地の食品についてもっと知りたいと思いました。また、地域を活性化するためのイベントを作り上げる中で、運営メンバーの間にできる絆のような力があたたかく、このような関係を大事にしたいなと思いました。短い期間でしたが、いろいろなことを学ばせてもらえました。ありがとうございます！
- 知らないことに参加することは抵抗があったけど、参加してみると知らないことを知れるいい機会でもとても良かったです。
- 今まちづくりに関わっていることがいくつかあるので、発表する側で出てみたいと思いました。こんなに、運営もしっかりしていて発表を見ている関係者の方もいい人ばかりなのに、出ているチームが少ないのは悲しいなと思いました。あまりたくさん参加できなかったけど、もっと来る人を増やせたらよかったなと思いました。
- 何事も締切ギリギリになってしまったところが反省点ですが、それ以外はうまくみんなで協力して活動できたと思います。西本さん、遠嶽さんにもたくさんサポートをいただき心強かったです。ありがとうございました。
- もっと積極的に参加したかったのですが、なかなか日程が合わず少し悔しいです。またコンソーシアムのこのような活動に携わりたいと考えています。その時はもう少し早い段階から日程を調整して参加したいです。
- 一部の運営メンバーの方が、何事にも自分から率先して動こうとしている姿を見て、すごく参考になりましたし、見習いたいと感じました。  
他大学の方とも楽しくお話出来て、今までに無い経験が出来ました！本当にありがとうございました！！
- いい経験になりました。

# 参加者アンケート集計

(回答者29名)

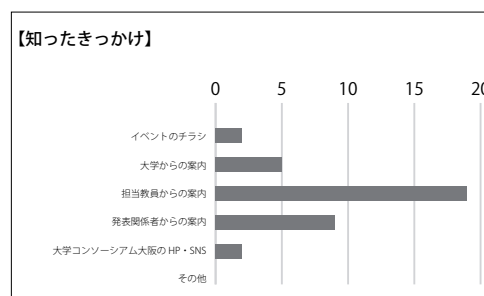
## Q1 回答者

|   |             |    |
|---|-------------|----|
| 1 | 大学教員        | 4  |
| 2 | 大学職員        | 3  |
| 3 | 学生          | 19 |
| 4 | 自治体関係者      | 2  |
| 5 | 産業界（企業等）関係者 | 1  |
| 6 | その他         | 0  |



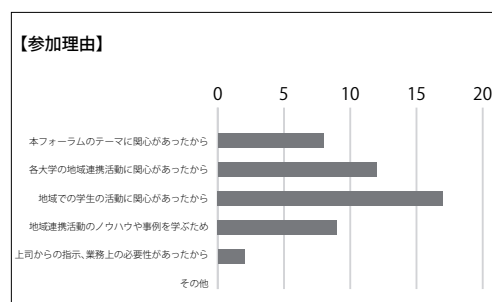
## Q2 イベントを知ったきっかけ（複数選択可）

|   |                    |    |
|---|--------------------|----|
| 1 | イベントのチラシ           | 2  |
| 2 | 大学からの案内            | 5  |
| 3 | 担当教員からの案内          | 19 |
| 4 | 発表関係者からの案内         | 9  |
| 5 | 大学コンソーシアム大阪のHP・SNS | 2  |
| 6 | その他                | 0  |



## Q3 参加理由（複数選択可）

|   |                       |    |
|---|-----------------------|----|
| 1 | 本フォーラムのテーマに関心があったから   | 8  |
| 2 | 各大学の地域連携活動に関心があったから   | 12 |
| 3 | 地域での学生の活動に関心があったから    | 17 |
| 4 | 地域連携活動のノウハウや事例を学ぶため   | 9  |
| 5 | 上司からの指示、業務上の必要性があったから | 2  |
| 6 | その他                   | 0  |



#### Q 4 発表内容について興味・関心をもった点(当日の発表順)

##### ① 摂南大学 経営学部 鶴坂ゼミ

- 自分のプロジェクトと似た内容だったため、興味深かった。
- キャラクターの考案・グッズの展開：実現するのがすごく難しそうなのに、形にしているすごいと思った。
- 子育て世代を対象として缶バッジを作ったり、かわいらしいマップ等愛着を持ってもらえるような工夫が良かった。
- 商店街の発展方法、ターゲットを設定し、それに合わせたイベントの企画。キャラクターの提案に関心を持った。
- 商店街のリーフレット作成、現物を見てとても一生懸命作っていると感じた。
- SDGsに取り組んでいて、すごく良いなと感じた。
- 商店街と協力して活動している点。動画作成・発信している点。
- 自分達だけでYoutubeの編集や夏祭りの企画等も行っているのがとても素晴らしいと感じた。
- 商店街の課題に対して、動画作成を行っていたり、イベントやキャラクターの作成を行って地域活性化しようとしている点。
- フルカラーのマップを作成した点。カラーで見やすく、キャラクターを使うことで子供も興味をもって見てもらえるよう工夫をしていたり、店舗一覧も知りたい情報も書いてあり、便利だと感じた。
- 実際に行動に移っていて、自分たちの手本のようになっていたのですごいと思った。
- 自分達で作ったマップをどこかに置いて自由に取ってもらうのではなく、自分達で3,000部配るという行動力がすごいと思った。
- 新しいことをどんどんやっていて、面白そうだった。
- 地域活性化のためにイベントをすることで、地域活性化になることに興味・関心を持った。
- 「してもら」ではなく、「自分達で発信する」になれるように、動画の撮り方やチラシの作りなどを商店街の方にレクチャーしてあげると、効果が高いと思う。
- 結果が出ているところがすごいと思った。
- 実際の収益改善等はどれくらい貢献できたかについて聞いてみたかった。
- 保育園があり、病院がある、それに銀行(ここでは郵便局)があると、そこへ行く動機ができるので、そのあたりも検討して欲しい。
- イベントに来てくださった方をどのように商店街のお客様につなげて行くかという点。イベントしか来なければ意味が無い。
- 子ども達が大人になってからも、地元商店街を利用してもらうため、SDGsも取り入れ、子育て世代を対象としたイベントを工夫して開催、今後も次のゼミ生につなげていこうとしている点が素晴らしい。
- 商店街のことをちゃんと考えて作っていて良かった。

## ②大阪成蹊大学 経営学部 大島ゼミ

- ヒアリング、素案、仮構想までの活動を完成まで実践的に行っている点。
- 救急車の利用者のことを考えていてとても関心がもてた。
- 消防車の促進だけでなく、限りある医療資源だと広めている点が現状の改善に繋がり良いと感じた。
- 自分も知らなかった広報誌について知ることができた。
- #7119のサービスを初めて知った。悩んだときは利用しようと思った。
- インターンシップから画像編集等を学ばれていたことから完成版が大変見やすく面白かった。
- 市役所だけでなく、消防署の方たちと協力していること、インターンシップに行くことで、直接体験しているところがとても良いと感じた。
- #7119というワードを初めて聞いて、救急車を呼ぶ時に迷いがあつたら、そこに電話をして自分が無駄に使わないように気をつけようと思った。
- 非常に難しい課題ですので、大変だったと思います。何かキャッチフレーズがあれば、短い言葉で伝えることが出来れば分かりやすいでしょう。
- 自ら企画を考えてしっかり作っていた点がとても良かった。
- 広報紙自体の在り方をどう考えるか尋ねてみたかった。広報紙の内容以前の問題があるのではないかと思った。
- 広報紙の素案から完成までの過程を見ることができ面白かった。
- 広報紙を作成するにあたり、作成する側の意見だけでなく、消防側の意見も反映されている点が、他者のことも考えられているため関心を持った。
- 広報紙を手にとることがあまり無かったが、手に取ってみようと思った。
- 広報紙の学生企画をつくるにあたっての準備。非常に時間をかけて丁寧に進めていると感じた。
- 広報についてしっかりとイメージが湧かなかったが、分かりやすいイラストや完成した広報紙を掲載することによって理解することができた。
- 広報紙を利用することで、多くの人に知ってもらえると思った。
- 市民の安心・安全等とても参考になることが広報紙には書かれているのに、あまり読まれていないことから面白い、手に取りやすいものを作成しており、市民の安心・安全を推進しようとしていた点。
- 広報紙の完成版ページのレイアウト、色使いが見やすいよう工夫されている点。広報紙の堅いイメージと真逆で、普段見ない内容だが、すらすらと読めた。
- 行政の広報紙の課題（堅いイメージ、若い人が読まない）の解決と、伝えたい大事な事を、大学生の視点でいかに発信するか、工夫を重ねた点がとても面白いと感じた。
- 広報紙を開くかどうかは表紙の役割が大きいいため、ちょっともったいない。本来の目的である適正利用が促進されたか測定する仕組み（仕掛け）があると素晴らしい。
- 「見てもらうための工夫」は心理学やマーケティングの知識等の応用があつたのか、について教えてもらえると良いと思った。

### ③大阪経済大学 経営学部 古賀ゼミ

- 多様な魅力のとらえ方があって、実感してもらうことがあると学んだ。Z世代目線の発信というのが良いと思った。
- Z世代である私達からわかる地域の魅力があると思った。
- SNSをフォローしたいと思ったので教えていただきたい。
- Z世代目線の発信をした点。ターゲット層を決めない点。SNSを使うことで気軽に発信でき、多くの方に見てもらえるため。
- 若者世代（Z世代）ならではの目線と方法（SNS等）で、地域の魅力を発信したいという視点に関心が高く、行政ともうまく連携できれば、と感じた。
- 地域の魅力を発信していくことで、地域の活性につながると思った。
- 知らない事を知るための体験の場を広げること。
- 企業へのアンケートで現場ならではの回答を求めた点について、貴重な情報を得られていることに関心を持った。
- 今後活動していくために、1つや2つではなくいくつかの事例を参考にしている点と、その事例を踏まえて様々な魅力を発見している点が活動につながられているため関心を持った。
- データ分析。データを再分析することで、さらに面白そうな展開が期待できるから。
- データ分析や魅力発見をしている点。
- 人口は増えているのに、地域の活性化ができていない、魅力の発信ができていない課題を、データや実際に地域を訪れて発見しようとしている点。人口と魅力が比例していないことに逆に興味を持った。
- グラフを多く使うことで文字だけでなく図による分かりやすさの2つがあり、とても聞きやすかった。
- コンパクトかつ分かりやすいスライドが多くてとても見やすかった。
- ストーリー性があるもの、そこに行くことで何か情報を得る、ここは小手先ではハードルが高いので、周囲の大人を巻き込んで進めてください。
- 色々な情報をインプットされ、それをどのような形でアウトプットされるのかが楽しみ。SNSで発信しても、フォロワーが増えないと意味が無い。
- 地域活性化に向けた次の展開について、今後も検討を続けていってほしいと思う。
- 繰り返し来なくなるランドマークや、住みたくなるような環境づくりが関係人口創出につながると思う。イオンの出店によって、増加につながると推測される。
- 魅力が伝わってとても興味を持てた。
- 地域の魅力を発見するために、遠い所まで色々なところに向向いていてすごいなと思った。
- 地域との連携が一番よく分かった気がした。
- 自分の大学周辺の魅力に気づくことができた。今後も注目します。
- 商店街など、地域の発展につなげていきたい点。

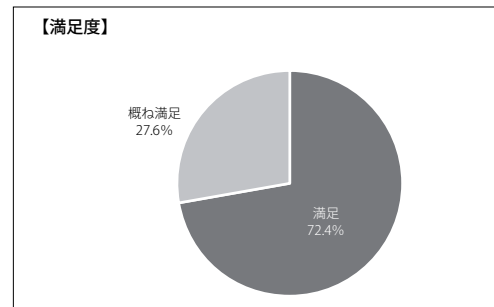
#### ④大阪電気通信大学

- 利用者のデータを分析し、その上で提案がされていること。
- データを多く使って説明できていて良かった。
- グランピングが好きなので、工夫されたロッジ、豊富な塗装色にとっても関心を抱いた。もっと改善するためにはどうすれば良いか、アンケートを元にまとめられているところがとても良いと感じた。
- 学生等、若年層をひきつける方法を考えること。
- 活動内容等を SNS に発信することで依頼が増えるのではないかと思った。
- 学内のカフェのデザイン等のアイデアが良いと思った。
- 大学内にカフェを製作するといった事例を初めて見聞きしたため興味を持った。また、製作するにあたり新しく製作するのではなく古くなった部屋や備品を利用する点が良いと感じた。
- 古いもの（既にあるもの）をリノベーションで生まれ変わらせ、新たな魅力の創出の場を行政とも連携し、活動の幅も広げていることが興味深かった。
- 古いカフェや備品をリメイクして、カフェを作れるなんてすごいなと思った。興味があるので、是非訪れてみたい。
- 自大学の使わない教室や地域のカフェも改装してカフェを作っていてすごいと思った。このように私も地域活性のために実際に行動に移したいと思わされた。
- リメイクも実際に学生が行っているというように、主体的に動いているのがすごいと思った。これまでも活動されていて、実績があって理解しやすかったです。
- 予算がかかることは大変ですので、どこからかお金を得るような取り組みなど、これも大人の人達と連携されると良いと思う。
- ハード面のリニューアルには資金が必要。根本的な問題をクリアするには予算が必要と考える。条例の内容が今の時代に合っているのか、疑問に思えた。
- 行政側の要望の実現の困難さを改めて感じた。
- 地域を見た目からわかりやすく改造している。もっと進めてほしい。
- 野外活動センターを初めて知った。機会があれば行ってみたい。
- 量が多かったが各自発表できていて良かった。
- 昨年のカフェの話やリノベーションについて新しい内容が聞けて良かった。
- 活動プランが2026年まで考えられ計画されていて、今後も活動していくビジョンが浮かびやすかった。
- プロジェクトが徐々に大きくなっている点。今後の展開が非常に楽しみ。
- これまでもカフェラボのプロジェクトを行っていること、コラボレーションしている点。
- これまでの蓄積をどう活かしていくのか、もっとお聞きしたかった。



Q5 本フォーラム全体の満足度

|               |    |
|---------------|----|
| 1 満足          | 21 |
| 2 概ね満足        | 8  |
| 3 満足できない点があった | 0  |
| 4 不満          | 0  |



【その理由】

満足

- ゼミの活動内容を発表することができ、活動内容を知ってもらえて嬉しかった。
- 他大学、学校外の方々の前で自分たちの活動を発表する機会はあまりなく、貴重な経験になった。
- 自分たちの活動を発表する機会がなかったため、機会をいただいた点と他大学の活動を知ることができ満足である。
- 人前で発表する機会がなかなか無いので楽しかった。
- お互いにしっかりと意見が発表できた。
- 他の提案など、勉強になることが多かった。
- 他大学の地域活動を知ることができ、参考にさせてもらおうと感じた。
- 予定通りに発表が進んでいたり、他大学の活動を聞いた。
- 各大学の地域の活動が良く理解できた。
- 他のグループの発表を聞いて、他の視点からの発表で現在の課題等を知れた。
- 他大学の意見を知れる貴重な機会になった。
- どういった取り組みなのか分かった。学生たちの活動を知ることができた。
- 他大学の方と交流できて嬉しかった。
- 勉強になった。交流会も楽しかった。
- 今の大学生の視点や思いを実際に聞ける、とても良い機会となった。

概ね満足

- 昨年度より発表大学が少なかったため。もっと他の大学の発表を聞きたかった。
- このご時世で地域連携が難しいため仕方無いのですが、発表団体が少なく、物足りなく感じた。
- 発表するチームが少なかった。動画が再生されたが音声小さかった。その時、スタッフの方が臨機応変に音量を上げるなどの対応をしてほしかった。
- 他の方の発表の仕方、スライドの作成構図などを知れて良かった。
- 発表の場があり、今後活用できるため。
- 1チームの発表が長い。面白くても疲れた。

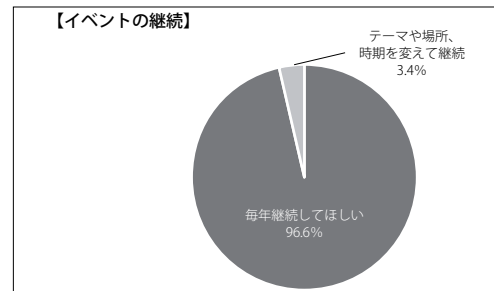
## Q6 イベントの継続について

|   |                                   |    |
|---|-----------------------------------|----|
| 1 | 毎年続けてほしい                          | 28 |
| 2 | テーマや場所、時期を変えて続けてほしい<br>(自由記述：具体例) | 1  |
| 3 | あまり続けてほしいと思わない(自由記述：<br>その理由)     | 0  |
| 4 | その他                               | 0  |

### 【その理由】

#### 毎年続けてほしい

- 他大学の活動内容を聞いて私達もより精進していこうと思えた。同い年の学生の発表や質疑応答する姿を見て、私もよりゼミ活動など精進していきたいと思った。



## Q7 イベント全般の感想や意見

- 今までやってきたゼミの成果を出すことができ良かった。
- このような発表の経験ができて良かった。また、他大学の活動内容を聞いて、これからの私達の活動に活かしていけるような要素もあり、とても勉強になった。  
1つの発表時間が30分と少し長いように感じた。
- 貴重な意見、アドバイスを頂ける機会をもらえて、とても良い時間を過ごせて良かった。
- 初めてこのような発表をしましたが、とても有意義な時間でした。
- 違う大学の活動が知れて吸収できる部分が多かった。
- 他の大学の方の活動内容を聞く機会は無いので、聞くことができ良かった。自分たちの活動のアドバイスも頂けて、また他の方の意見も聞くことができ良かった。
- 他大学の活動を知ることができ良かった。
- 他大学との交流や活動を知れて、刺激になった。
- 交流など、自由に話や活動ができるのが良かった。
- 他大学との交流があり、これからも継続してほしいと思った。
- もっと多くの大学生と交流したい。
- 発表するチームが増えれば良いと思う。地域で活動するゼミ等が多いので、これまでの活動の振り返りや他大学との交流するには良い機会だと考える。イベントの目的を明確にし、参加することのメリットを前面に打ち出しPRすることが大切ではないかと考えた。
- 「今後どうしていきたいか」についてもお聞きしたかった。
- 今回、自大学のほかに3つの大学の発表があったが、もっと多くの大学の地域活性化の活動情報も知りたいと思った。
- 今日は4つの大学が参加をして、発表や交流会が行われましたが、もっと多くの大学にも興味を持ってもらって、他の視点や交流が広がればいいなと思った。
- 昨年も参加したが、昨年には無かった新たな発見ができ、有意義な時間を過ごせた。
- 地域の課題解決や活性化のため、企業や地域の方々、行政ともつながりながら、これからも面白い取り組みを続けていきたい。
- そもそもの課題のとらえ方が表面的なものが多い。背策の実施までが目的になっており、成果が出ていない、効果測定の仕組みを作っていないのが少しもったいないと思った。成果にこだわってやった方が面白いですよ。

## Q8 学生運営メンバーへのメッセージ

- スムーズに事が運べていて、とても楽しく発表・交流ができて嬉しかった。
- 発表しやすいようにフォローしてくださってとても心強かったです。ありがとうございました。
- 誘導がスムーズだったこと、発表順の変更の際も対応が丁寧でした。イベント開始前に、応援の声を運営メンバーからいただけて嬉しかったです。
- 良い機会をありがとうございました！超楽しかったです！！
- とても良い企画内容でした！ありがとうございました！
- 運営していただき誠にありがとうございました。
- チラシのクオリティが大変高かったです。非常にスムーズな運営で快適に過ごせました。
- ありがとうございました。とてもスムーズな運営で素晴らしいと思いました。今後、この経験を様々な場面で活かしてほしいと思います。
- 司会・進行等ありがとうございました。とても楽しく参加できました。
- 皆さん笑顔でとても親切な人ばかりでした！
- 運営お疲れ様でした。発表団体がまた増えたら、2021年度の交流会のようなクイズ大会等をしてほしいなと思いました。
- 自分も運営をしてみたい。
- 大変だったと思います。色々思うところもあると思いますが、何度もめげずにがんばってください。「ローマは一日にして成らず」です。
- 日頃の授業など学業で忙しい中、企画～運営までお疲れさまでした。おかげさまで有意義な機会を持つことができました。ありがとうございました。運営のノウハウなど、来年度以降にも引き継いでください。
- プロジェクトを企画し、運営を進めていくのは楽しいことばかりでなく、大変なこと、困難なことにもぶつかるかと思いますが、今後、社会人となったときに、大きな力となる程の、とても良い経験となると思います。これからもたくさんの方とつながり、可能性を広げていただきたいと思います。
- お疲れさまでした。個人的には従来の発表をなぞるのではなく、もっと学生らしさを出した運営や発表形態を見てみたいと思いました。あなたたちの感性や考え方をそのまま発信して頂けると嬉しいです。
- このような場を設けてくれてありがとうございました。

## 広報用チラシ (参考)

まち・地域で元気に活動している学生求む！

地域連携 学生フォーラム in Osaka

発表学生  
大募集！

主催：特定非営利活動法人大学コンソーシアム大阪

10.23 sun 2022 (令和4)年 10:00～17:30 (予定)  
グランフロント大阪 北館タワーC 8階  
ナレッジキャピタルカンファレンスルーム  
タワーC Room C01+02

テーマ：「大阪の大学生発！私たちのアイデアでまち・地域を元気UP！」

大阪の大学生によるさまざまな地域活動を広く発信しよう！

### 募集概要

#### 【対象】

大学コンソーシアム大阪の会員大学に在籍する学生

#### 【参加単位】

2名～5名のグループ ※複数大学の学生によるグループも可  
(主たるメンバーが会員大学の学生であること)

#### 【発表対象】

- ・学生が地域と連携して取り組んでいる研究活動、事業、フィールドワーク等
- ・学生が主体となって地域と連携して取り組む活動

#### 【発表にあたって】

- ・活動のテーマやエリア、進捗は問いません。
- ・発表数が予定を大幅に超える場合や発表内容が開催趣旨から逸脱している場合は調整を行うことがあります。

エントリーの詳細はこちら▼

<https://www.consortium-osaka.gr.jp/univ/gakusei-frm/yoko/>

【エントリー締切】8月31日(水)17:00まで



#### 【問い合わせ先】

特定非営利活動法人 大学コンソーシアム大阪 事務局(地域連携担当)

TEL：06-6344-9560 / MAIL：chiiki-renkei★conso-osaka.jp ※★を@に変えてください



# 地域連携 学生フォーラム

in Osaka 2022



テーマ

**大阪の大学生発！  
私たちのアイデアで  
まち・地域を元気UP！**

**観覧者募集！**

2022.10.23（日）13:00-17:00

グランフロント大阪 北館タワーC 8階  
ナレッジキャピタルカンファレンスルームタワーC  
Room C01+02

今年から、来場者の募集を再開します！  
会場での観覧をご希望の方は、下記のURLまたは  
QRコードからお申し込みください。  
会場でお待ちしております！



<https://forms.gle/C46jhFrikYEUG8GM8>

また、当日の発表の様様を  
YouTubeにてライブ配信を行います。  
詳細・視聴申込については、  
大学コンソーシアム大阪のHPをご覧ください！



<https://www.consortium-osaka.gr.jp/>

「地域」×「学生」

あなたの隣に？！  
大阪の学生プロジェクト！！  
地域に根ざした  
大学生の取り組み大公開！

当日はコメント欄より  
発表学生に応援メッセージを  
お送りください！

大学コンソーシアム大阪



詳細は、大学コンソーシアム大阪の  
HPをチェック！

## 地域連携学生フォーラムとは・・・

大学コンソーシアム大阪の会員大学（39大学）に所属している学生が、地域で取り組んでいる研究やゼミ、ボランティア、フィールドワークなどの活動について発表し交流する、学生主体のフォーラムです。

そんな学生による、大阪に根ざした取り組みを地域のみなさんに大公開！あなたの身近で学生たちが織りなす“元気UP！”なプロジェクトを見てみませんか？



Twitter



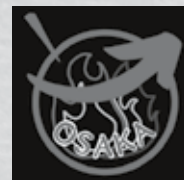
Instagram

SNSをフォローして  
情報をチェックしてね！

## 今年のテーマについて

地域連携学生フォーラム2022  
オリジナルロゴ

はじめまして！地域連携学生フォーラム 企画運営学生メンバーです。  
今年のテーマは「大阪の大学生発！私たちのアイデアでまち・地域を元気UP！」。  
大阪の大学生だからこそできる地域活動を通して、大阪のまち・地域に元気をお届けします！

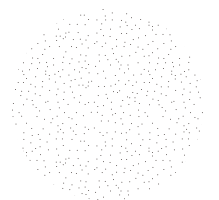
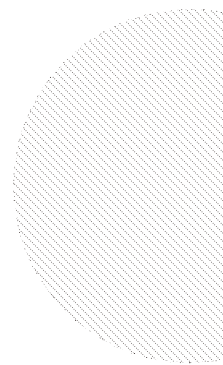
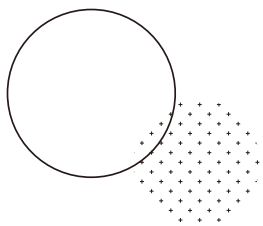


## 今年の発表（4事業）

- 摂南大学 経営学部 鶴坂ゼミ  
「地元商店街での新規顧客開拓活動」
- 大阪経済大学 経営学部 古賀ゼミ  
「地域の魅力発見・発信のデザインと関係人口の創出による地域活性化  
- “東淀川魅力発見プロジェクト”参加を手がかりとして -」
- 大阪電気通信大学  
「OECUカフェラボプロジェクト（2022年度報告）」
- 大阪成蹊大学 経営学部 大島ゼミ  
「自治体広報紙記事作成による『救急車の適正利用と消防活動』の啓発」

※エントリー順に掲載

【お問い合わせ先】 特定非営利活動法人 大学コンソーシアム大阪（事務局 地域連携担当）  
Email：chiiki-renkei★conso-osaka.jp（★を@に変えてください）  
TEL：06-6344-9560（平日 9:30-17:30）



特定非営利活動法人大学コンソーシアム大阪  
大阪市北区梅田 1-2-2-400 大阪駅前第 2 ビル 4 階  
TEL : 06-6344-9560  
MAIL : chiiki-renkei★conso-osaka.jp (事務局 地域連携担当)  
★を@に変えてください。  
URL : <https://www.consortium-osaka.gr.jp/>